

平成30年度 財政状況資料集

総括表（市町村）

都道府県名	福岡県		市町村類型	Ⅲ-3		指定団体等の指定状況		区分	平成30年度(千円)	平成29年度(千円)	区分	平成30年度(千円・%)	平成29年度(千円・%)																																																																																																																																																					
						財政健全化等	×	歳入総額	36,319,875	33,646,537	実質収支比率	4.7	4.5																																																																																																																																																					
市町村名	筑紫野市		地方交付税種地	1-4		財源超過	×	歳出総額	35,171,132	32,699,293	経常収支比率	87.6	87.8																																																																																																																																																					
						首都	×	歳入歳出差引	1,148,743	947,244	(※1)	(94.0)	(93.9)																																																																																																																																																					
						近畿	×	翌年度に繰越すべき財源	259,495	109,562	標準財政規模	18,923,766	18,742,379																																																																																																																																																					
						中部	×	実質収支	889,248	837,682	財政力指数	0.79	0.78																																																																																																																																																					
人口	27年国調(人)	101,081	産業構造(※5)		過疎	×	単年度収支	51,566	-1,053,034	公債費負担比率	11.2	13.3																																																																																																																																																						
	22年国調(人)	100,172			山振	×	積立金	753	25	健全化判断比率																																																																																																																																																								
	増減率(%)	0.9			低開発	×	繰上償還金	0	200,255	実質赤字比率	-	-																																																																																																																																																						
住民基本台帳人口(※7)	31.01.01(人)	103,853	第1次	27年国調	680	611	低開発	×	積立金取崩し額	946,387	0	連結実質赤字比率	-	-																																																																																																																																																				
	うち日本人(人)	103,277		1.5	1.4	指数表選定	○	実質単年度収支	-894,068	-852,754	実質公債費比率	4.8	5.5																																																																																																																																																					
	30.01.01(人)	103,731	第2次	8,120	7,429	基準財政収入額	11,401,247	11,420,589	資金不足比率(※4)																																																																																																																																																									
	うち日本人(人)	103,147		18.2	17.1	基準財政需要額	14,449,618	14,351,702																																																																																																																																																										
	増減率(%)	0.1	第3次	35,790	35,361	標準税収入額等	14,552,908	14,570,758																																																																																																																																																										
うち日本人(%)	0.1	80.3	81.5	経常経費充当一般財源等	17,002,117	16,775,400																																																																																																																																																												
面積(km ²)	87.73				歳入一般財源等	22,802,247	22,579,191																																																																																																																																																											
人口密度(人/km ²)	1,152																																																																																																																																																																	
世帯数(世帯)	39,350																																																																																																																																																																	
職員の状況																																																																																																																																																																		
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等(※6)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高	27,675,943	26,960,821																																																																																																																																																							
	市区町村長	1	9,200		一般職員	419	1,236,050	2,950	うち公的資金	23,160,235	23,803,822																																																																																																																																																							
	副市区町村長	1	7,550		うち消防職員	-	-	-	債務負担行為額(支出予定額)	4,975,808	10,259,703																																																																																																																																																							
	教育長	1	6,800		うち技能労務職員	9	31,734	3,526	収益事業収入	-	-																																																																																																																																																							
	議会議長	1	5,400		教育公務員	5	17,631	3,526	土地開発基金現在高	6,076	6,076																																																																																																																																																							
	議会副議長	1	4,800		臨時職員	-	-	-	積立金現在高	1,909,178	2,854,812																																																																																																																																																							
	議会議員	20	4,500		合計	424	1,253,681	2,957	減債基金	461,207	461,133																																																																																																																																																							
						ラスバイレス指数			100.8	その他特定目的基金	6,886,915	8,041,038																																																																																																																																																						
<table border="0"> <tr> <td>一般会計等の一覧</td> <td>事業会計の一覧</td> <td>公営企業(法適)の一覧</td> <td>公営企業(法非適)の一覧</td> <td>関係する一部事務組合等一覧</td> <td>地方公社・第三セクター等一覧</td> </tr> <tr> <td>項番</td> <td>会計名</td> <td>項番</td> <td>会計名</td> <td>項番</td> <td>組合等名</td> <td>項番</td> <td>団体名</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(※3)</td> </tr> <tr> <td>(1)</td> <td>一般会計</td> <td>(4)</td> <td>国民健康保険事業特別会計</td> <td>(7)</td> <td>水道事業会計</td> <td>(9)</td> <td>農業集落排水事業特別会計</td> <td>(10)</td> <td>筑紫野・小郡・基山清掃施設組合(一般会計)</td> <td>(20)</td> <td>筑紫野市土地開発公社</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>(2)</td> <td>住宅新築資金等貸付事業特別会計</td> <td>(5)</td> <td>介護保険事業特別会計</td> <td>(8)</td> <td>下水道事業会計</td> <td></td> <td></td> <td>(11)</td> <td>両筑衛生施設組合(一般会計)</td> <td>(21)</td> <td>筑紫野市文化振興財団</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(3)</td> <td>奨学資金貸与事業特別会計</td> <td>(6)</td> <td>後期高齢者医療事業特別会計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(12)</td> <td>筑慈苑施設組合(一般会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(13)</td> <td>山神水道企業団</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(14)</td> <td>福岡地区水道企業団</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(15)</td> <td>筑紫野太宰府消防組合(一般会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(16)</td> <td>筑紫自治振興組合(一般会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(17)</td> <td>筑紫自治振興組合(筑紫公平委員会特別会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(18)</td> <td>福岡県市町村職員退職手当組合(一般会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(19)</td> <td>福岡県市町村職員退職手当組合(基金特別会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>														一般会計等の一覧	事業会計の一覧	公営企業(法適)の一覧	公営企業(法非適)の一覧	関係する一部事務組合等一覧	地方公社・第三セクター等一覧	項番	会計名	項番	会計名	項番	組合等名	項番	団体名					(※3)	(1)	一般会計	(4)	国民健康保険事業特別会計	(7)	水道事業会計	(9)	農業集落排水事業特別会計	(10)	筑紫野・小郡・基山清掃施設組合(一般会計)	(20)	筑紫野市土地開発公社	○	(2)	住宅新築資金等貸付事業特別会計	(5)	介護保険事業特別会計	(8)	下水道事業会計			(11)	両筑衛生施設組合(一般会計)	(21)	筑紫野市文化振興財団		(3)	奨学資金貸与事業特別会計	(6)	後期高齢者医療事業特別会計					(12)	筑慈苑施設組合(一般会計)												(13)	山神水道企業団												(14)	福岡地区水道企業団												(15)	筑紫野太宰府消防組合(一般会計)												(16)	筑紫自治振興組合(一般会計)												(17)	筑紫自治振興組合(筑紫公平委員会特別会計)												(18)	福岡県市町村職員退職手当組合(一般会計)												(19)	福岡県市町村職員退職手当組合(基金特別会計)			
一般会計等の一覧	事業会計の一覧	公営企業(法適)の一覧	公営企業(法非適)の一覧	関係する一部事務組合等一覧	地方公社・第三セクター等一覧																																																																																																																																																													
項番	会計名	項番	会計名	項番	組合等名	項番	団体名					(※3)																																																																																																																																																						
(1)	一般会計	(4)	国民健康保険事業特別会計	(7)	水道事業会計	(9)	農業集落排水事業特別会計	(10)	筑紫野・小郡・基山清掃施設組合(一般会計)	(20)	筑紫野市土地開発公社	○																																																																																																																																																						
(2)	住宅新築資金等貸付事業特別会計	(5)	介護保険事業特別会計	(8)	下水道事業会計			(11)	両筑衛生施設組合(一般会計)	(21)	筑紫野市文化振興財団																																																																																																																																																							
(3)	奨学資金貸与事業特別会計	(6)	後期高齢者医療事業特別会計					(12)	筑慈苑施設組合(一般会計)																																																																																																																																																									
								(13)	山神水道企業団																																																																																																																																																									
								(14)	福岡地区水道企業団																																																																																																																																																									
								(15)	筑紫野太宰府消防組合(一般会計)																																																																																																																																																									
								(16)	筑紫自治振興組合(一般会計)																																																																																																																																																									
								(17)	筑紫自治振興組合(筑紫公平委員会特別会計)																																																																																																																																																									
								(18)	福岡県市町村職員退職手当組合(一般会計)																																																																																																																																																									
								(19)	福岡県市町村職員退職手当組合(基金特別会計)																																																																																																																																																									

(注釈) ※1: 経常収支比率の()内の数値は、「減収補填債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。
 ※2: 各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。
 ※3: 地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。
 ※4: 資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。
 ※5: 産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、分類不能の産業を除いて算出。
 ※6: 個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「一人あたり給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている)。
 ※7: 人口については、調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

(1) 普通会計の状況 (市町村)

歳入の状況 (単位 千円・%)					地方税の状況 (単位 千円・%)				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	
地方税	13,552,930	37.3	12,648,147	70.0	普通税	12,642,459	93.3	191,617	
地方譲与税	245,362	0.7	245,362	1.4	法定普通税	12,642,459	93.3	191,617	
利子割交付金	20,564	0.1	20,564	0.1	市町村民税	6,404,387	47.3	191,617	
配当割交付金	45,702	0.1	45,702	0.3	個人均等割	174,353	1.3	-	
株式等譲渡所得割交付金	41,896	0.1	41,896	0.2	所得割	5,209,853	38.4	-	
分離課税所得割交付金	-	-	-	-	法人均等割	320,949	2.4	53,128	
道府県民税所得割臨時交付金	-	-	-	-	法人税割	699,232	5.2	138,489	
地方消費税交付金	1,707,674	4.7	1,707,674	9.4	固定資産税	5,433,972	40.1	-	
ゴルフ場利用税交付金	45,734	0.1	45,734	0.3	うち純固定資産税	5,423,375	40.0	-	
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	199,202	1.5	-	
自動車取得税交付金	93,193	0.3	93,193	0.5	市町村たばこ税	604,898	4.5	-	
軽油引取税交付金	-	-	-	-	鉱産税	-	-	-	
地方特例交付金	88,939	0.2	88,939	0.5	特別土地保有税	-	-	-	
地方交付税	3,498,954	9.6	3,048,371	16.9	法定外普通税	-	-	-	
普通交付税	3,048,371	8.4	3,048,371	16.9	目的税	910,471	6.7	-	
特別交付税	450,583	1.2	-	-	法定目的税	910,471	6.7	-	
震災復興特別交付税	-	-	-	-	入湯税	5,688	0.0	-	
(一般財源計)	19,340,948	53.3	17,985,582	99.5	事業所税	-	-	-	
交通安全対策特別交付金	19,661	0.1	19,661	0.1	都市計画税	904,783	6.7	-	
分担金・負担金	556,519	1.5	-	-	水利地益税等	-	-	-	
使用料	354,658	1.0	48,757	0.3	法定外目的税	-	-	-	
手数料	327,513	0.9	-	-	旧法による税	-	-	-	
国庫支出金	5,529,018	15.2	-	-	合計	13,552,930	100.0	191,617	
国有提供交付金(特別区財調交付金)	1,354	0.0	1,354	0.0					
都道府県支出金	2,362,445	6.5	-	-					
財産収入	56,569	0.2	24,651	0.1					
寄附金	112,912	0.3	-	-					
繰入金	2,982,840	8.2	-	-					
繰越金	947,244	2.6	-	-					
諸収入	636,207	1.8	-	-					
地方債	3,091,987	8.5	-	-					
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-					
うち臨時財政対策債	1,322,487	3.6	-	-					
歳入合計	36,319,875	100.0	18,080,005	100.0					

区分		平成30年度		平成29年度	
徴収率 (%)	合計	98.9	93.7	98.8	93.3
	市町村民税	99.0	94.0	98.8	93.4
	純固定資産税	98.7	93.0	98.7	92.7

公営事業等への繰出		国民健康保険事業会計の状況	
合計	3,974,410	実質収支	21,303
下水道	776,447	再差引収支	-371,592
上水道	49,651	加入世帯数(世帯)	12,595
工業用水道	-	被保険者数(人)	20,263
交通	-	被保険者	86
国民健康保険	990,931	1人当り	-
その他	2,157,381	保険税(料)収入額	339
		国庫支出金	-
		保険給付費	-

(注釈)
 普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、
 単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

歳出の状況 (単位 千円・%)					
目的別歳出の状況 (単位 千円・%)					
区分	決算額 (A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等	
議会費	274,601	0.8	-	274,569	
総務費	7,974,770	22.7	4,546,823	4,022,072	
民生費	14,274,670	40.6	25,599	6,364,779	
衛生費	2,881,396	8.2	26,453	2,532,037	
労働費	184,612	0.5	-	125,586	
農林水産業費	502,641	1.4	40,853	353,009	
商工費	406,271	1.2	12,485	124,728	
土木費	2,025,897	5.8	896,161	1,622,919	
消防費	1,177,511	3.3	53,911	1,137,637	
教育費	2,416,933	6.9	236,743	2,228,067	
災害復旧費	463,264	1.3	-	310,481	
公債費	2,588,566	7.4	-	2,557,620	
諸支出金	-	-	-	-	
前年度繰上充用金	-	-	-	-	
歳出合計	35,171,132	100.0	5,839,028	21,653,504	

性質別歳出の状況 (単位 千円・%)					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	16,335,758	46.4	8,824,840	8,815,879	45.4
人件費	4,056,945	11.5	3,597,865	3,590,712	18.5
うち職員給	2,406,883	6.8	2,033,621	-	-
扶助費	9,690,247	27.6	2,669,355	2,667,547	13.7
公債費	2,588,566	7.4	2,557,620	2,557,620	13.2
元利償還金	2,588,412	7.4	2,557,466	2,557,466	13.2
うち元金	2,376,865	6.8	2,345,919	2,345,919	12.1
うち利子	211,547	0.6	211,547	211,547	1.1
一時借入金利子	154	0.0	154	154	0.0
その他の経費	12,533,082	35.6	10,832,362	8,186,238	42.2
物件費	3,860,039	11.0	3,277,041	2,909,160	15.0
維持補修費	124,094	0.4	118,403	118,403	0.6
補助費等	4,002,666	11.4	3,724,236	2,873,608	14.8
うち一部事務組合負担金	2,173,251	6.2	2,173,251	1,664,510	8.6
繰出金	3,332,402	9.5	2,794,216	2,285,067	11.8
積立金	878,657	2.5	875,938	-	-
投資・出資金・貸付金	335,224	1.0	42,528	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	6,302,292	17.9	1,996,302	-	-
うち人件費	93,333	0.3	29,564	-	-
普通建設事業費	5,839,028	16.6	1,685,821	-	-
うち補助	617,828	1.8	176,233	-	-
うち単独	5,218,552	14.8	1,509,240	-	-
災害復旧事業費	463,264	1.3	310,481	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	35,171,132	100.0	21,653,504	-	-

(2)各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率(市町村)

平成30年度 福岡県筑紫野市

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

Table with columns: 会計名, 歳入, 歳出, 形式収支, 実質収支, 他会計等からの繰入金, 地方債現在高, 備考. Rows include 一般会計, 住宅新築資金等貸付事業特別会計, etc.

*一般会計等(純計)は、各会計の相互間の繰入・繰出等の重複を控除したものであり、各会計の合計と一致しない場合がある。

公営企業会計等の財政状況(単位:百万円)

Table with columns: 会計名, 総収益(歳入), 総費用(歳出), 純損益(形式収支), 資金剰余額/不足額(実質収支), 他会計等からの繰入金, 企業債(地方債)現在高, 左のうち一般会計等繰入見込額, 資金不足比率, 備考. Rows include 国民健康保険事業特別会計, etc.

地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況(単位:百万円)

Table with columns: 地方公社・第三セクター等名, 経常損益, 純資産又は正味財産, 当該団体からの出資金, 当該団体からの補助金, 当該団体からの貸付金, 当該団体からの債務保証に係る債務残高, 当該団体からの損失補償に係る債務残高, 一般会計等負担見込額, 備考. Rows include 筑紫野市土地開発公社, etc.

*地方公共団体が①25%以上出資している法人又は②財政支援を行っている法人を記載している。

*地方公共団体財政健全化に基づき将来負担比率の算定対象となっている法人については、○印を付与している。

公債費負担の状況

将来負担の状況

Large table showing public debt service and future burden status. Includes columns for 区分, 実質公債費比率, 将来負担比率, 内訳, and 健全化判断比率. Rows include 元利償還金, 元利償還金積立不足算定額, etc.

(3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

平成30年度

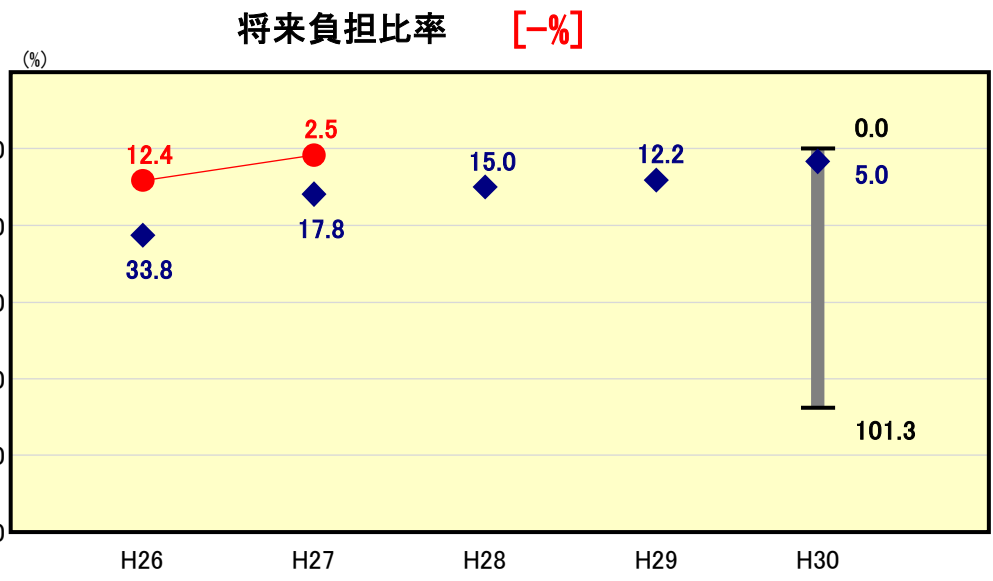
福岡県筑紫野市

人口	103,853	人(H31.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	103,277	人(H31.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	87.73	km ²	実質公債費比率	4.8	%
歳入総額	36,319,875	千円	将来負担比率	-	%
歳出総額	35,171,132	千円	市町村類型	H26 Ⅲ-1 H27 Ⅲ-3 H28 Ⅲ-3	
実質収支	889,248	千円	(年度毎)	H29 Ⅲ-3 H30 Ⅲ-3	
標準財政規模	18,923,766	千円			
地方債現在高	27,675,943	千円			



※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※平成31年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。
 ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。
 ※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。
 ※人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成30年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

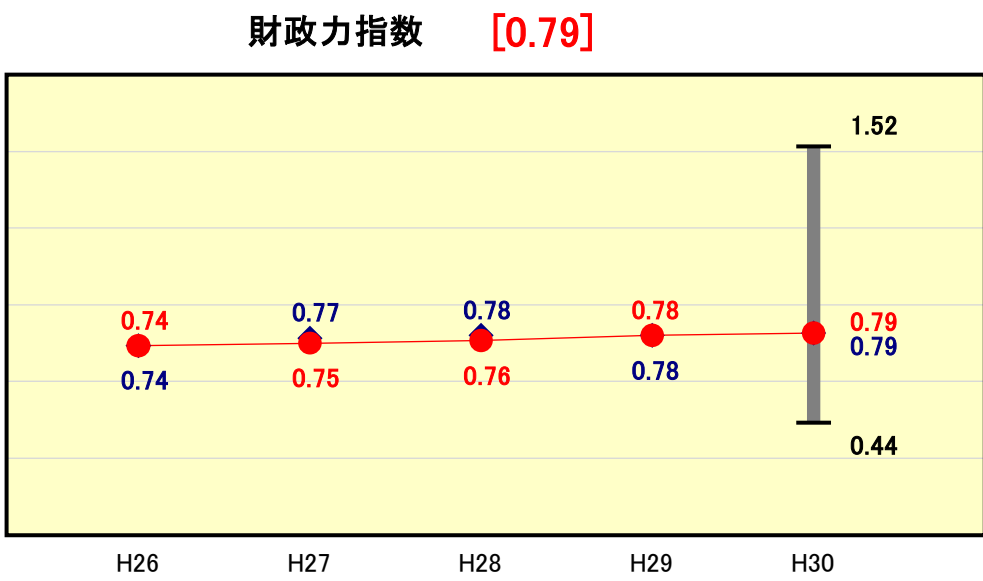
将来負担の状況



類似団体内順位 1/50 全国平均 28.9 福岡県平均 73.4

将来負担比率の分析欄
 将来負担比率は、一部事務組合等の負担見込額が減少したことなどから、前年度に引き続き平成30年度も算定なしとなっている。
 今後も健全財政を維持できるよう、財政計画(平成28年度～令和元年度)に基づき、歳入の確保と歳出の適正化に努めていく。

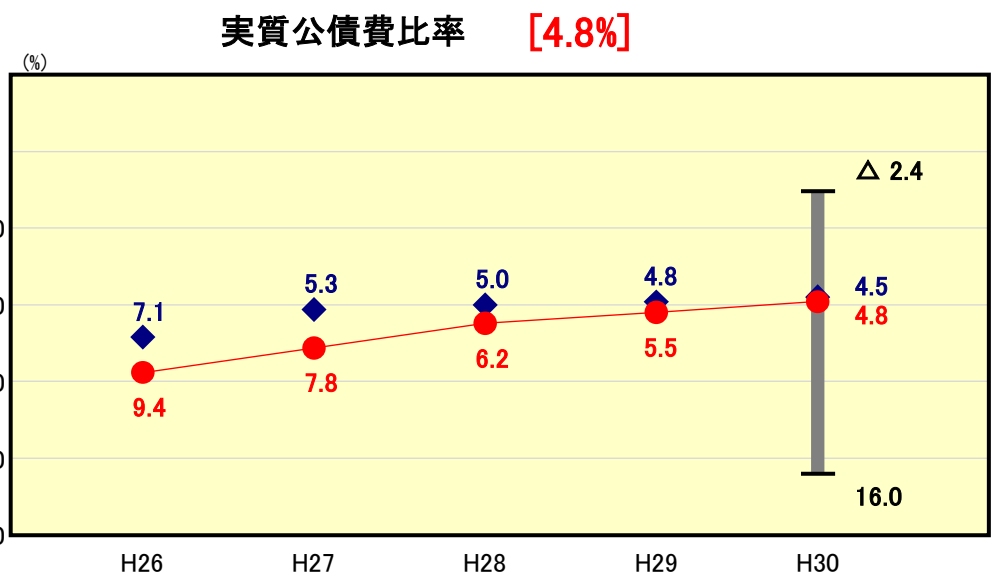
財政力



類似団体内順位 26/50 全国平均 0.51 福岡県平均 0.54

財政力指数の分析欄
 財政力指数は平成26年度以降改善している。
 主な要因としては、地方税の増等により基準財政需要額の伸びよりも基準財政収入額の伸びの方が大きいことが挙げられる。
 現在の水準を維持するために、今後も税收の確保に努めていく。

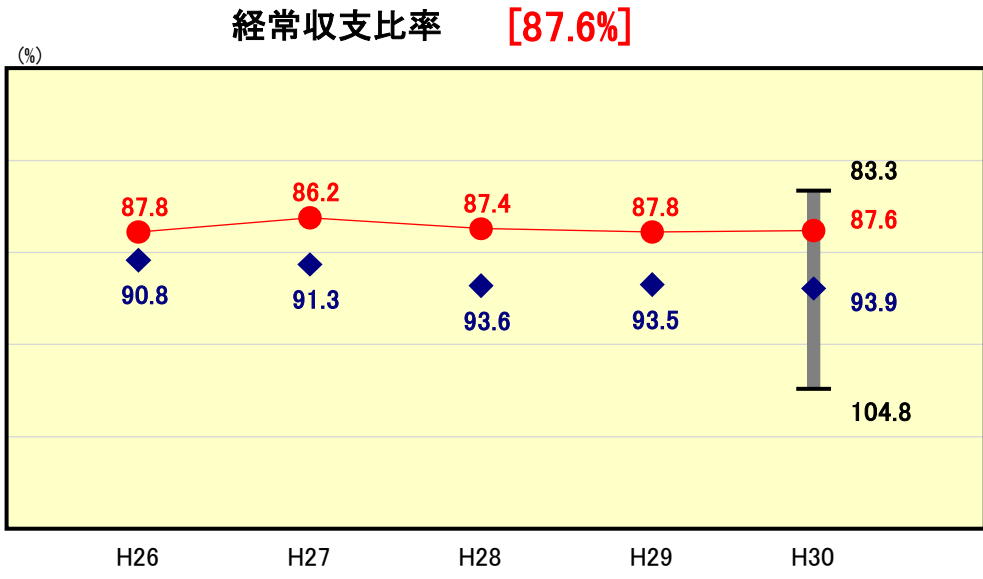
公債費負担の状況



類似団体内順位 26/50 全国平均 6.1 福岡県平均 8.6

実質公債費比率の分析欄
 実質公債費比率は、平成8年度～13年度に行った大型建設事業に伴う公債費負担や、一部事務組合の起こした地方債に関する負担額が大きくなったため、類似団体と比較すると0.3ポイント上回っている。
 本市前年度比較では、市債発行の抑制と計画的な償還に努めたことにより元利償還額が減少傾向にあるため0.7ポイント改善したが、今後も財政計画(平成28年度～令和元年度)に基づき、実質公債費比率を12.5%以内とすることなどを目標に健全な財政運営を行っていく。

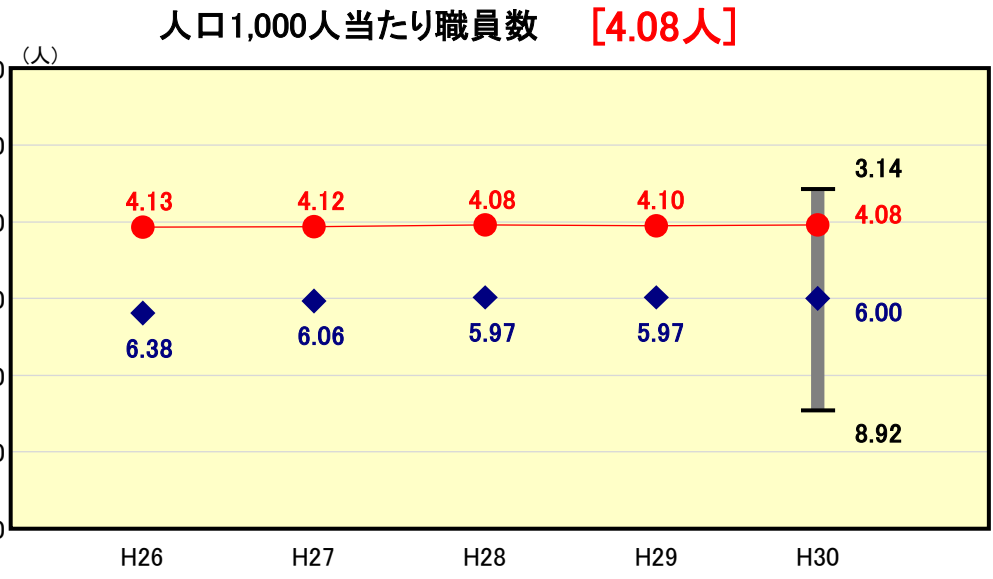
財政構造の弾力性



類似団体内順位 6/50 全国平均 93.0 福岡県平均 94.3

経常収支比率の分析欄
 経常収支比率は、類似団体平均と比較すると6.3ポイント下回っている。
 また、本市前年度比較では、主に地方税などの増により前年度比で0.2ポイント下回った。
 歳出については、公債費以外は増加しており、臨時財政対策債を除いた経常収支比率は依然90%以上となっている。今後も引き続き経常経費の見直しを進めるとともに、さらなる財政の健全化に努めていく。

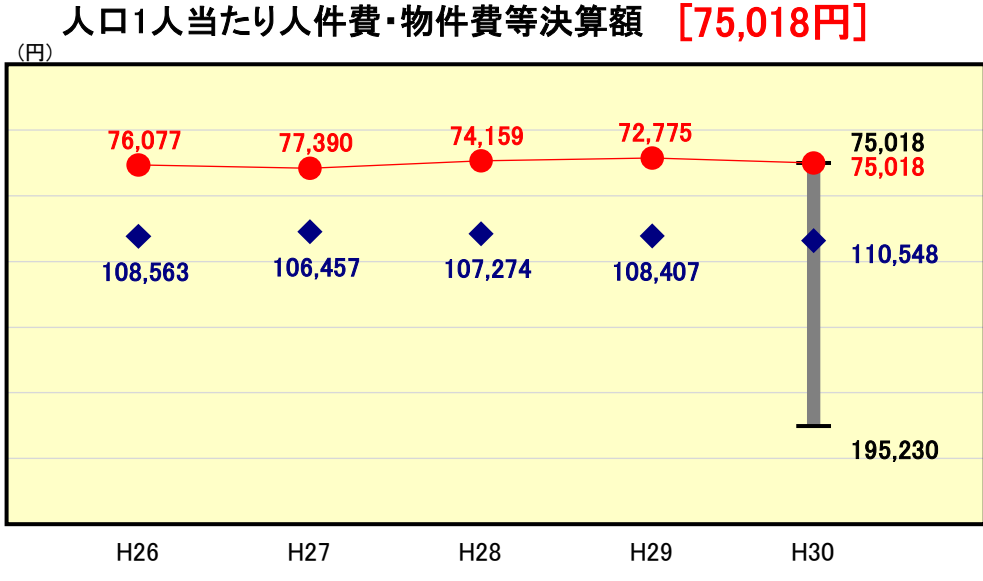
定員管理の状況



類似団体内順位 2/50 全国平均 7.95 福岡県平均 8.06

人口1,000人当たり職員数の分析欄
 人口千人当たりの職員数は、類似団体平均が6.00人のところ、本市4.08人と1.92人下回り、類似団体内順位2位である。
 今後も適正な定員管理を行っていく。

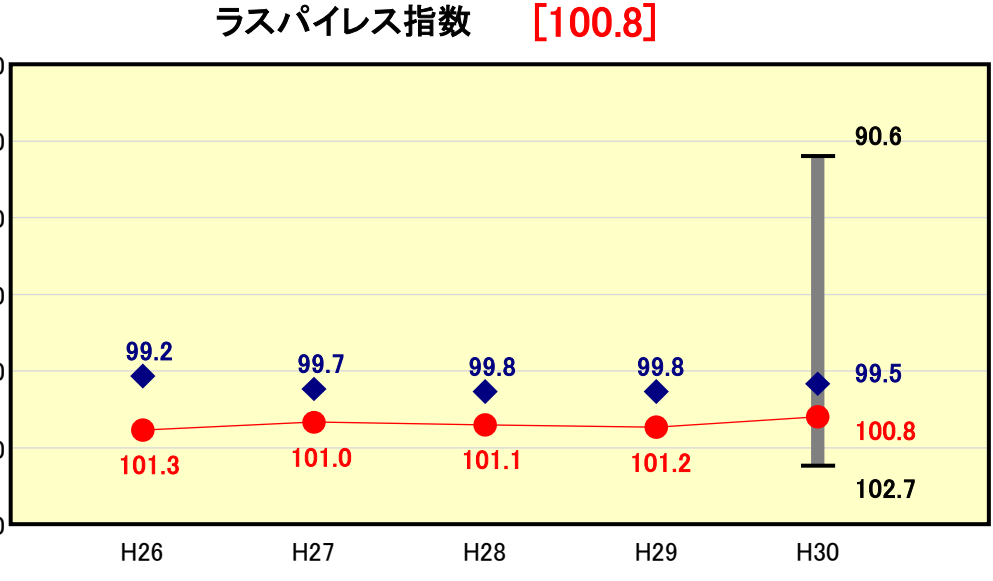
人件費・物件費等の状況



類似団体内順位 1/50 全国平均 132,793 福岡県平均 134,691

人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄
 人口1人当たりの人件費・物件費等の決算額は類似団体の中で最も少なく、これは人口千人当たり職員数が類似団体平均と比較して少なく、人件費が低く抑えられていることが主な要因であると考えられる。
 今後も、引き続き事務事業の見直しを進めていく。

給与水準 (国との比較)



類似団体内順位 38/50 全国市平均 98.9 全国町村平均 96.3

ラスパイレース指数の分析欄
 ラスパイレース指数は、類似団体平均を1.3ポイント上回っている。
 主に異動等による職員構成の変動により、昨年度から0.4ポイント改善した。
 今後も給与の適正化に努めていく。

(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成30年度

福岡県筑紫野市

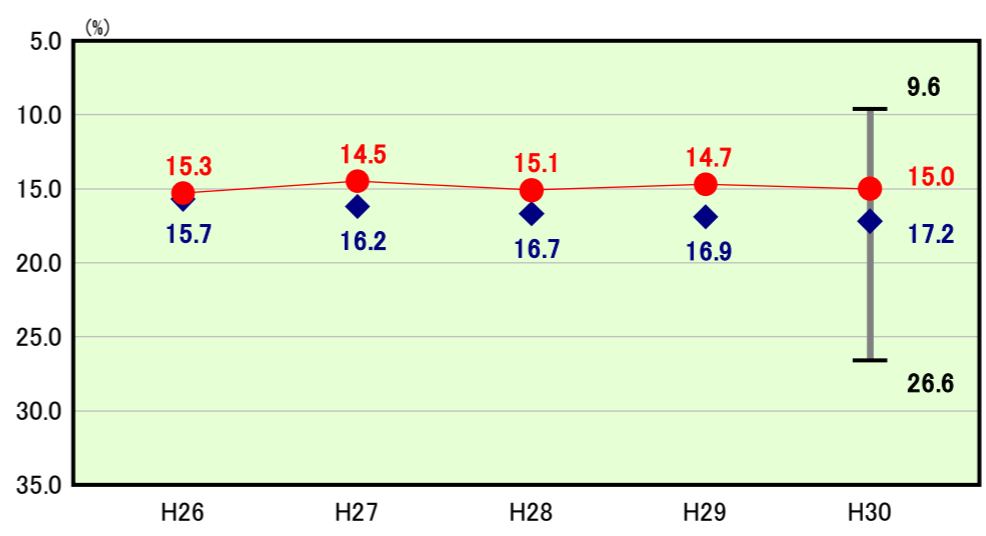
経常収支比率の分析

人口	103,853	人(H31.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	103,277	人(H31.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	87.73	km ²	実質公債費比率	4.8	%
歳入総額	36,319,875	千円	将来負担比率	-	%
歳出総額	35,171,132	千円	市町村類型	H26 Ⅲ-1 H27 Ⅲ-3 H28 Ⅲ-3	
実質収支	889,248	千円	(年度毎)	H29 Ⅲ-3 H30 Ⅲ-3	
標準財政規模	18,923,766	千円			
地方債現在高	27,675,943	千円			

※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成30年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



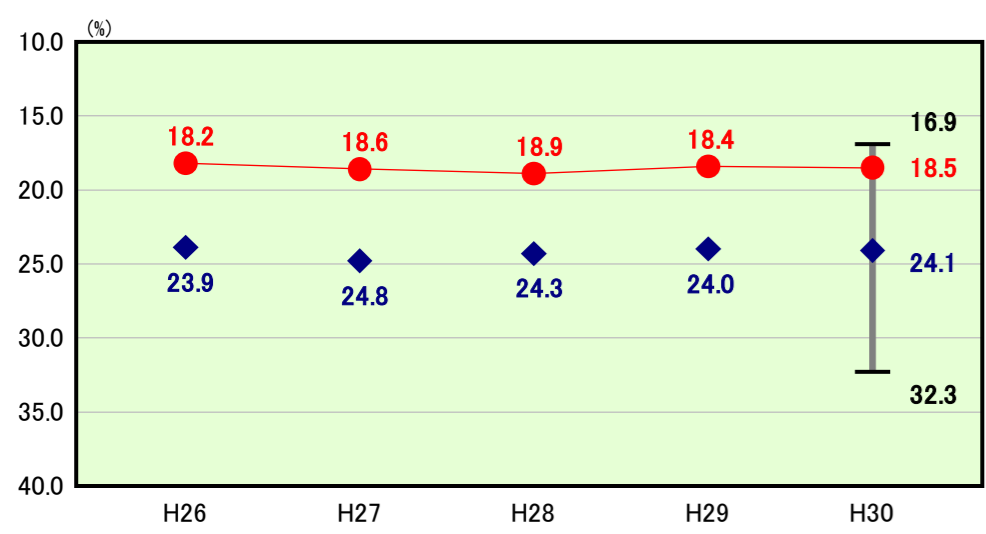
物件費



類似団体内順位 13/50 全国平均 14.7 福岡県平均 13.8

物件費の分析欄
 本市前年度比較では、予防接種業務委託料の増などにより、物件費に係る経常収支比率は前年度比0.3ポイント上回った。類似団体平均は17.2%のところ、本市15.0%と2.2ポイント下回っていることから、一定の効率化は図られていると考えられるが、今後も見直しを進めていく。

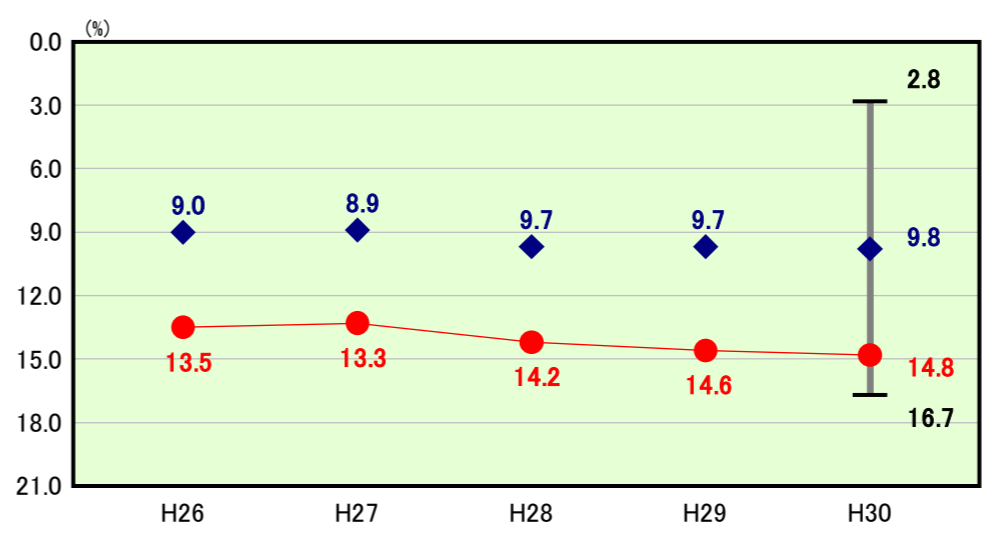
人件費



類似団体内順位 3/50 全国平均 25.6 福岡県平均 25.4

人件費の分析欄
 人件費に係る経常収支比率は、類似団体平均24.1%のところ、本市18.5%と5.6ポイント下回っている。これは、人口千人当たり職員数が類似団体平均と比較して少なく、人件費が低く抑えられていることが主な要因であると考えられる。今後も適正な定員管理を継続し、人件費の適正化に努めていく。

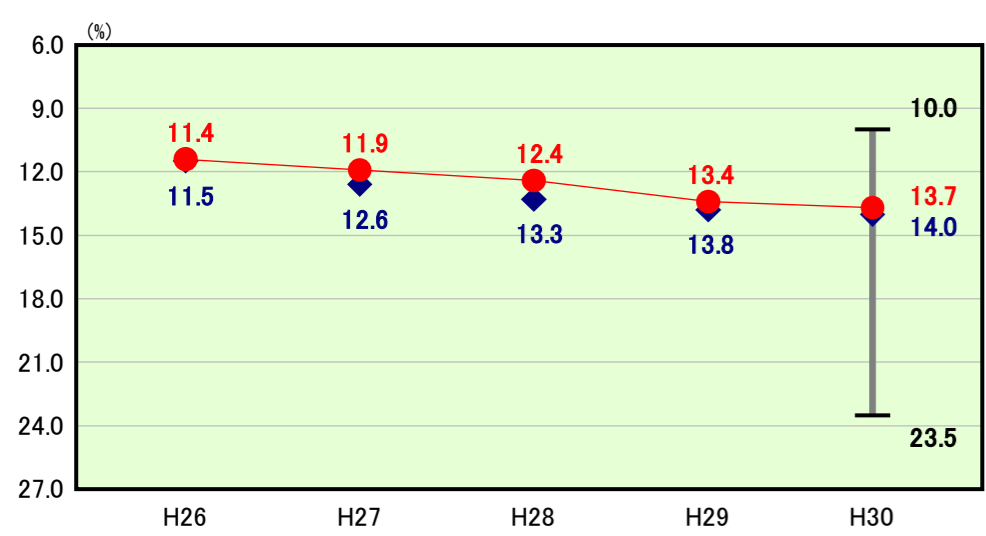
補助費等



類似団体内順位 47/50 全国平均 10.2 福岡県平均 9.8

補助費等の分析欄
 補助費等に係る経常収支比率は類似団体平均9.8%に対し、本市14.8%と5.0ポイント上回っている。これは、ごみ処理事業や消防事業を一部事務組合で行っており、その負担金が大きいためと考えられる。今後も一部事務組合に対しても経費の見直しを求め、負担金の抑制を図りたい。

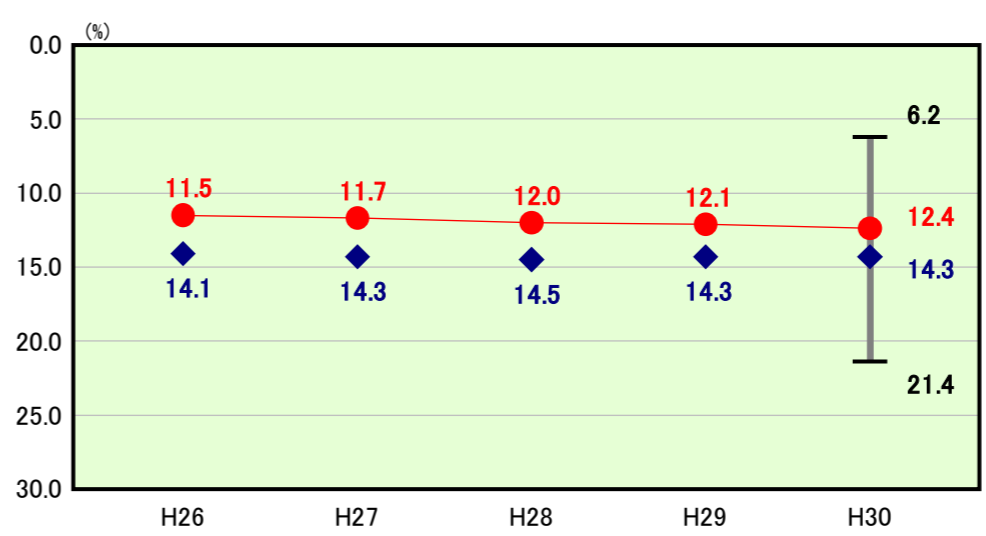
扶助費



類似団体内順位 24/50 全国平均 12.6 福岡県平均 14.1

扶助費の分析欄
 扶助費に係る経常収支比率は類似団体平均14.0%に対し、本市は13.7%と0.3ポイント下回っている。また、本市前年度比較では障害福祉サービスに係る給付や私立保育所施設型給付費の増加などにより、前年度比で0.3ポイント上回った。今後も扶助費の増加は見込まれるため、経常経費全体の見直しを進めていく。

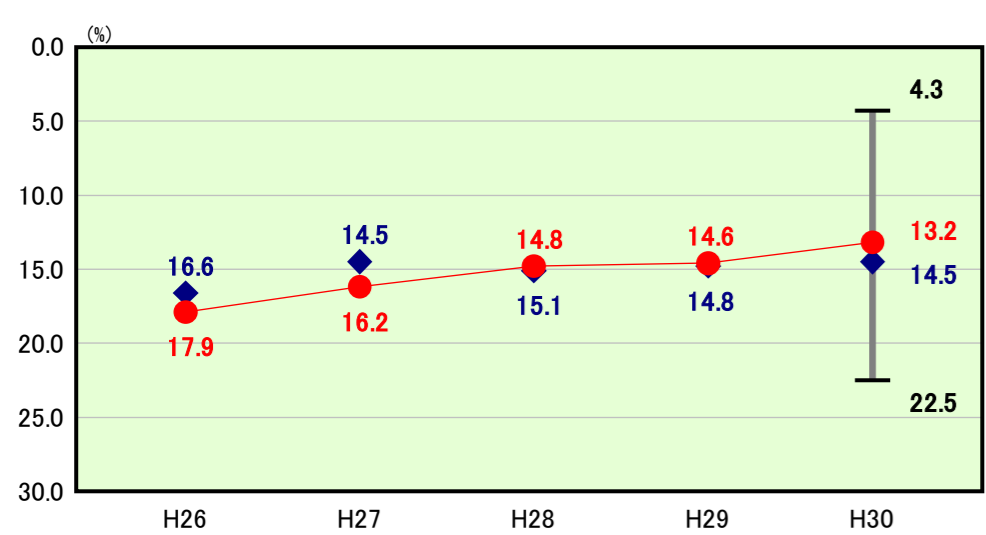
その他



類似団体内順位 14/50 全国平均 13.3 福岡県平均 12.6

その他の分析欄
 その他(維持補修費、繰出金)に係る経常収支比率は、類似団体平均14.3%のところ、本市12.4%と1.9ポイント下回っている。維持補修費については今後も施設等の維持管理を適切に行い、繰出金についても適切な執行に努めていく。

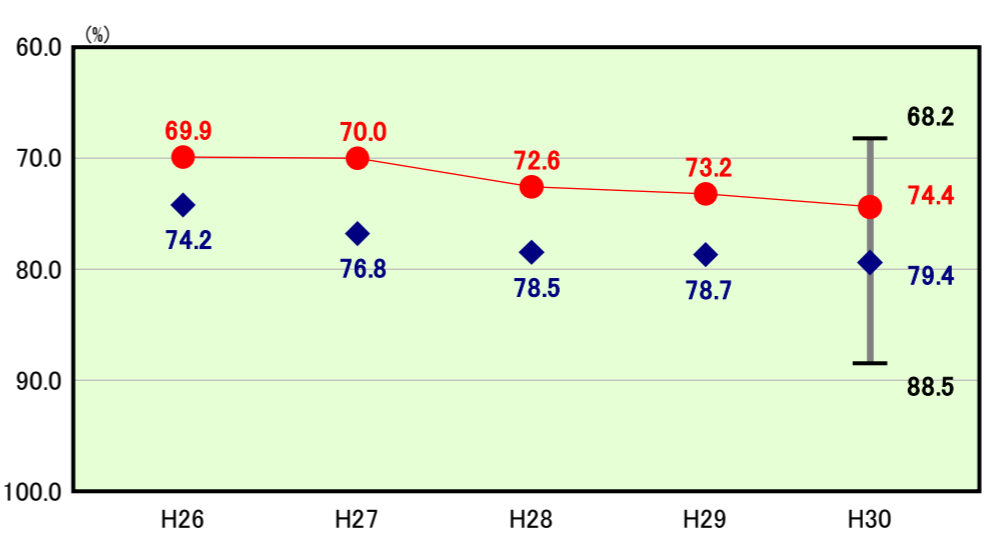
公債費



類似団体内順位 19/50 全国平均 16.6 福岡県平均 18.6

公債費の分析欄
 これまで市債発行の抑制と計画的な償還に努めてきた結果、公債費に係る経常収支比率は低下傾向にある。今後も、財政計画(平成28年度～令和元年度)に基づき、健全財政の維持のため計画的な償還に努めていく。

公債費以外



類似団体内順位 10/50 全国平均 76.4 福岡県平均 75.7

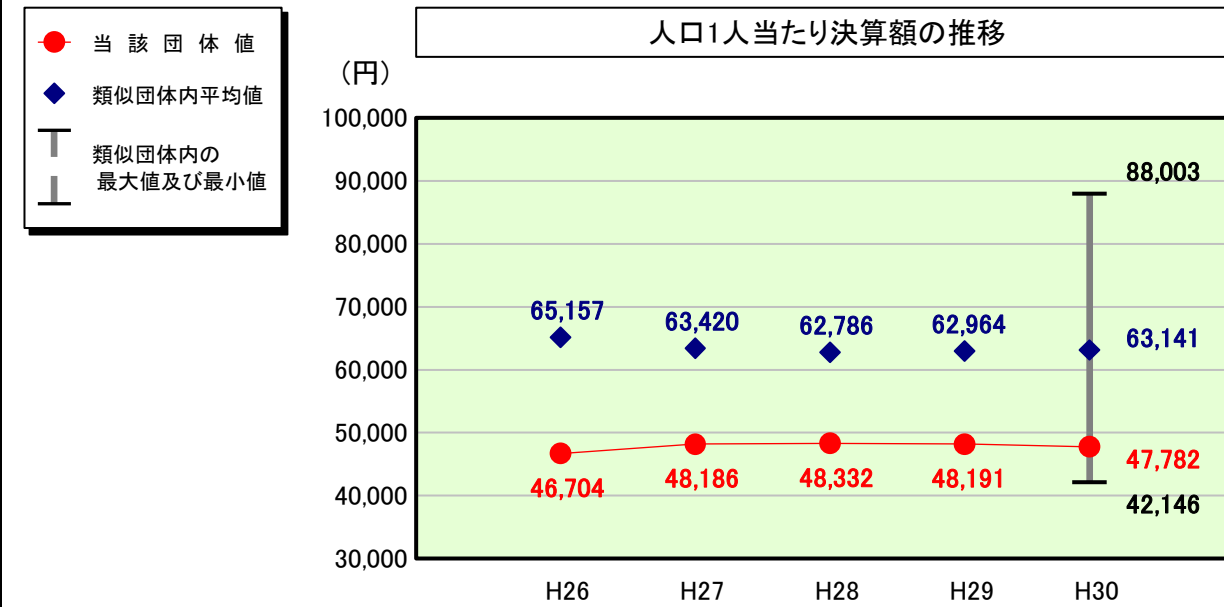
公債費以外の分析欄
 公債費以外に係る経常収支比率は、類似団体平均79.4%のところ、本市74.4%と5.0ポイント下回っている。事務事業評価による事業の見直しや財政計画(平成28年度～令和元年度)に基づき、各費目経常経費の見直しを進め、経常収支比率の抑制に努めていく。

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成30年度

福岡県筑紫野市

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



人件費及び人件費に準ずる費用

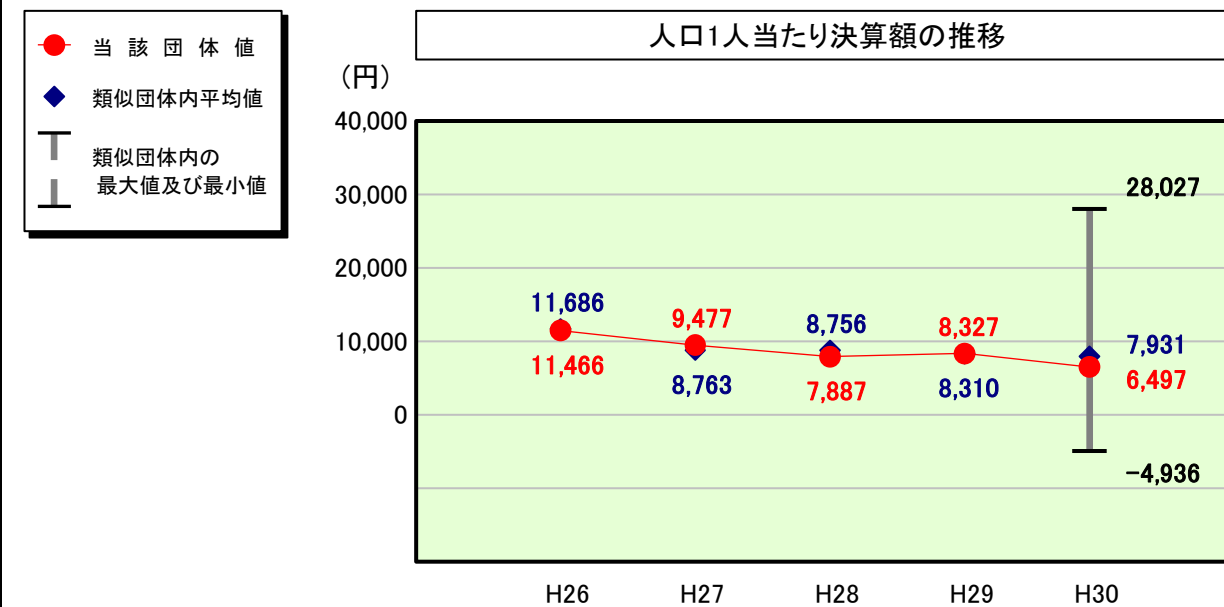
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
人件費	4,056,945	39,064	56,739	▲ 31.2
賃金 (物件費)	235,264	2,265	3,644	▲ 37.8
一部事務組合負担金 (補助費等)	693,614	6,679	3,408	96.0
公営企業 (法適) 等に対する繰出し (補助費等)	15,696	151	508	▲ 70.3
公営企業 (法適) 等に対する繰出し (投資及び出資金・貸付金)	-	-	12	-
公営企業 (法非適) 等に対する繰出し (繰出金)	211,068	2,032	2,329	▲ 12.8
事業費支弁に係る職員の人件費 (投資的経費)	93,333	899	1,096	▲ 18.0
▲退職金	▲ 343,576	▲ 3,308	▲ 4,593	▲ 28.0
合計	4,962,344	47,782	63,141	▲ 24.3

参考

	当該団体	類似団体平均	対比 (差引)
人口1,000人当たり職員数 (人)	4.08	6.00	▲ 1.92
ラスパイレス指数	100.8	99.5	1.3

(注) 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

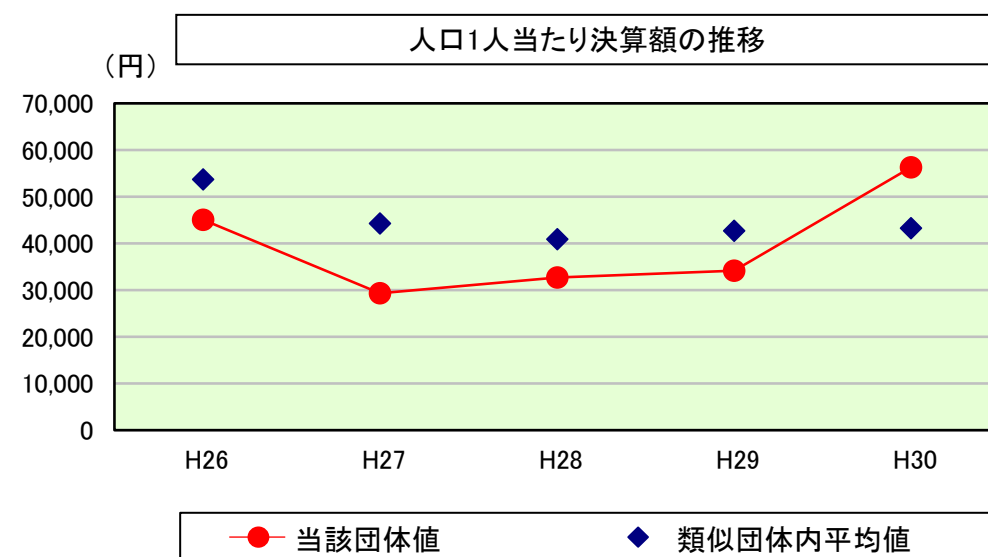


公債費及び公債費に準ずる費用 (実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	2,588,412	24,924	32,265	▲ 22.8
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	1	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	32	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	670,054	6,452	6,764	▲ 4.6
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	599,966	5,777	1,228	370.4
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	69	1	1,060	▲ 99.9
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	58	1	1	0.0
▲特定財源の額	▲ 579,874	▲ 5,584	▲ 6,969	▲ 19.9
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 2,603,947	▲ 25,073	▲ 26,451	▲ 5.2
合計	674,738	6,497	7,931	▲ 18.1

※平成31年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出してない団体については、グラフを表記しない。

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

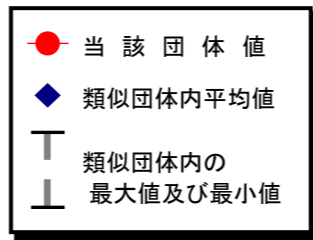
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体 (円)	増減率 (%) (A)	類似団体平均 (円)	増減率 (%) (B)	(A)-(B)
H26	4,608,543	44,996	4.5	53,605	5.4	▲ 0.9
うち単独分	3,348,212	32,691	25.6	28,343	11.7	▲ 13.9
H27	2,994,922	29,230	▲ 35.0	44,267	▲ 17.4	▲ 17.6
うち単独分	1,361,837	13,292	▲ 59.3	26,161	▲ 7.7	▲ 51.6
H28	3,376,942	32,687	11.8	40,879	▲ 7.7	19.5
うち単独分	2,351,017	22,756	71.2	24,087	▲ 7.9	79.1
H29	3,532,289	34,052	4.2	42,651	4.3	▲ 0.1
うち単独分	2,909,219	28,046	23.2	22,675	▲ 5.9	29.1
H30	5,839,028	56,224	65.1	43,226	1.3	63.8
うち単独分	5,218,552	50,249	79.2	22,622	▲ 0.2	79.4
過去5年間平均	4,070,345	39,438	10.1	44,926	▲ 2.8	12.9
うち単独分	3,037,767	29,407	28.0	24,778	▲ 2.0	30.0

(5) 市町村性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

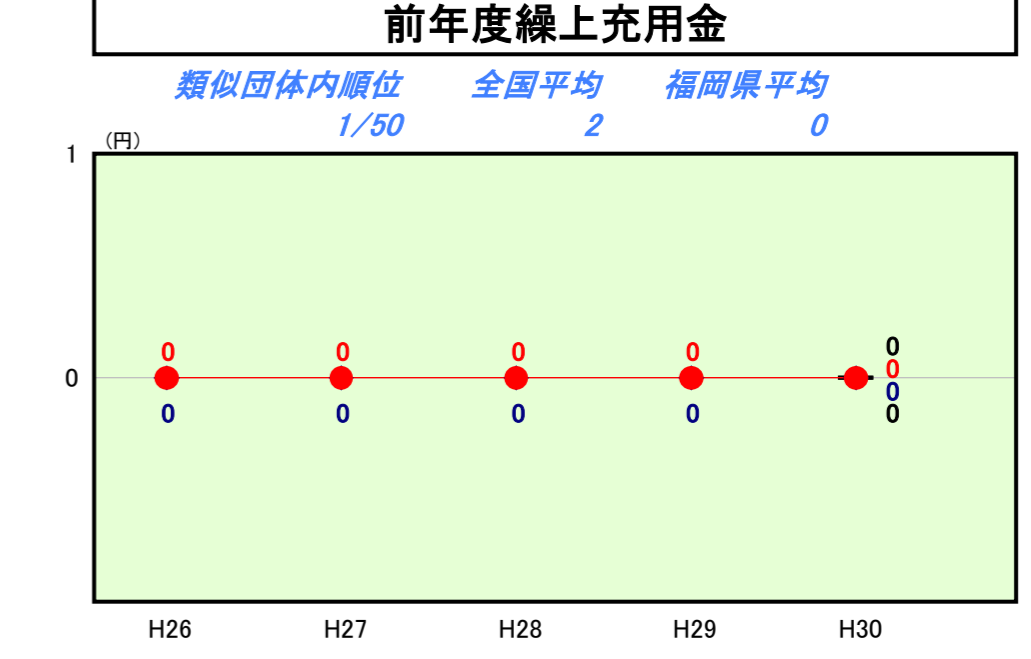
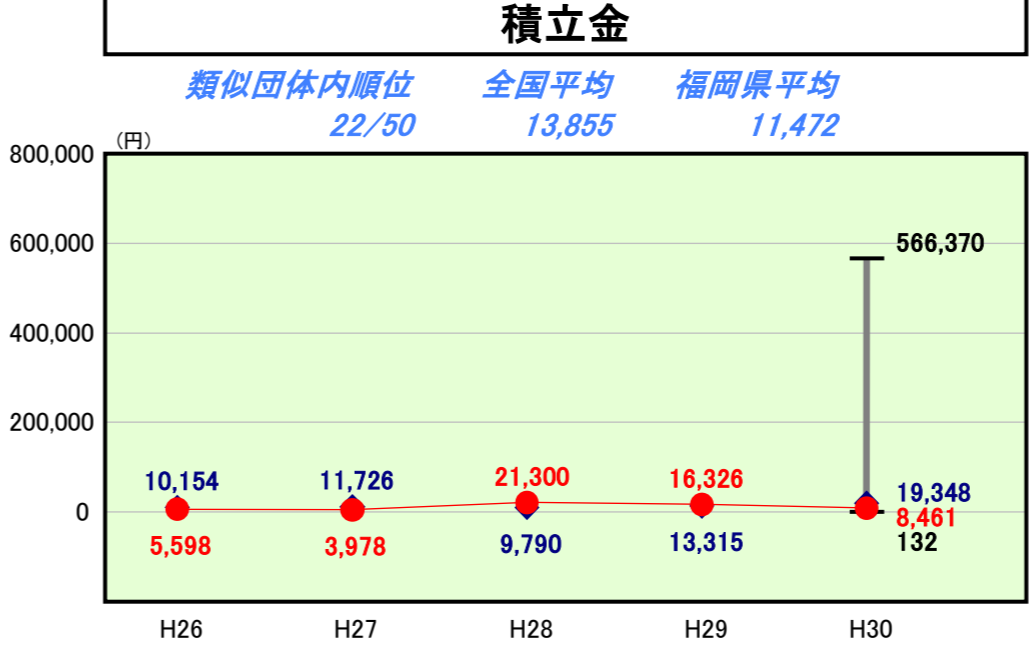
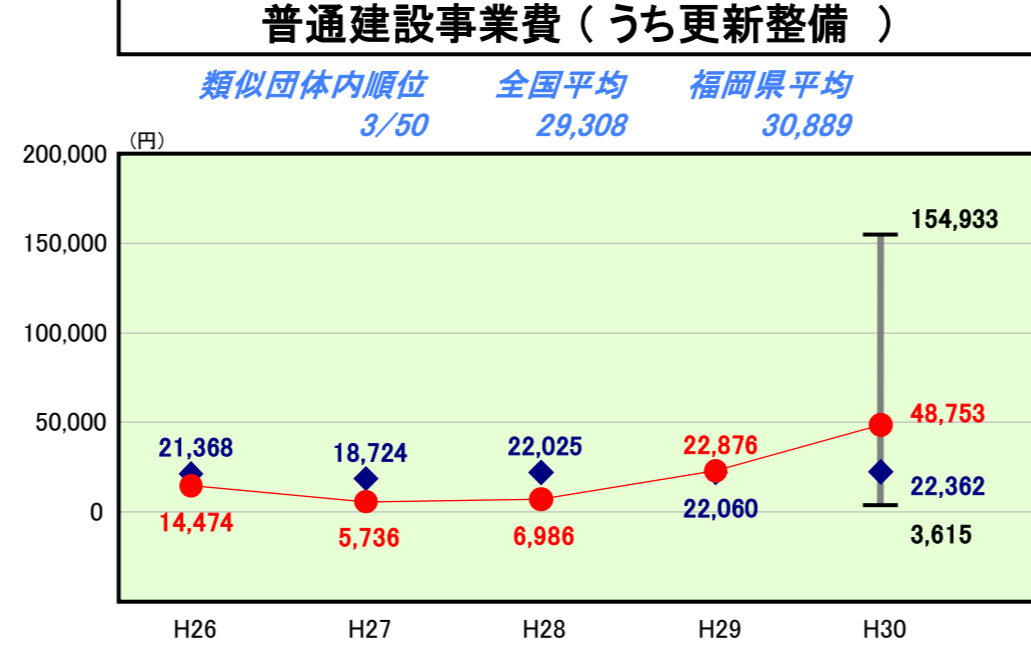
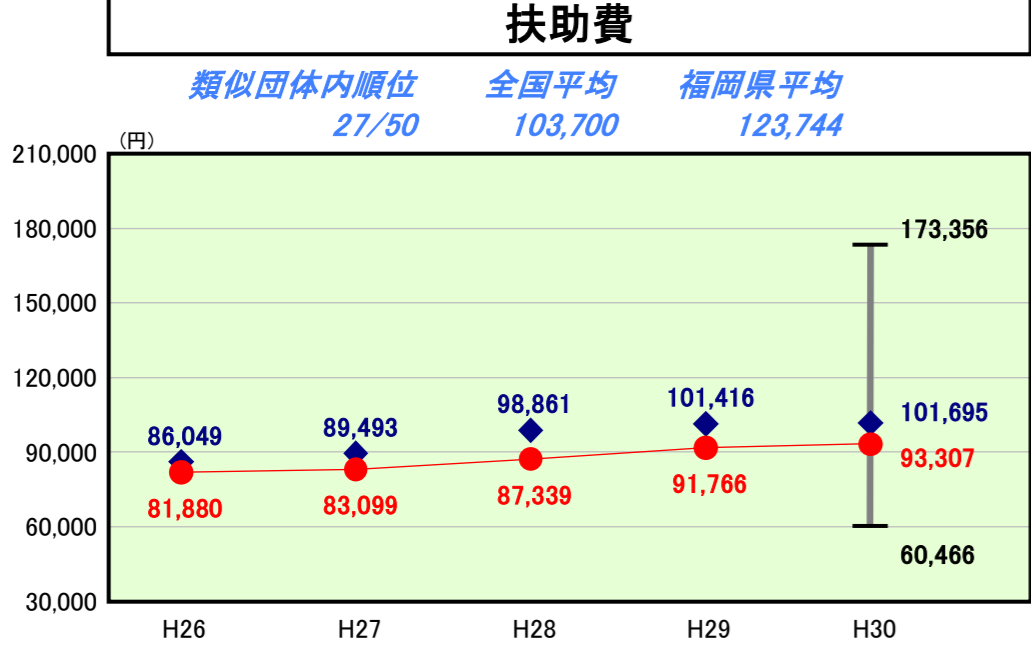
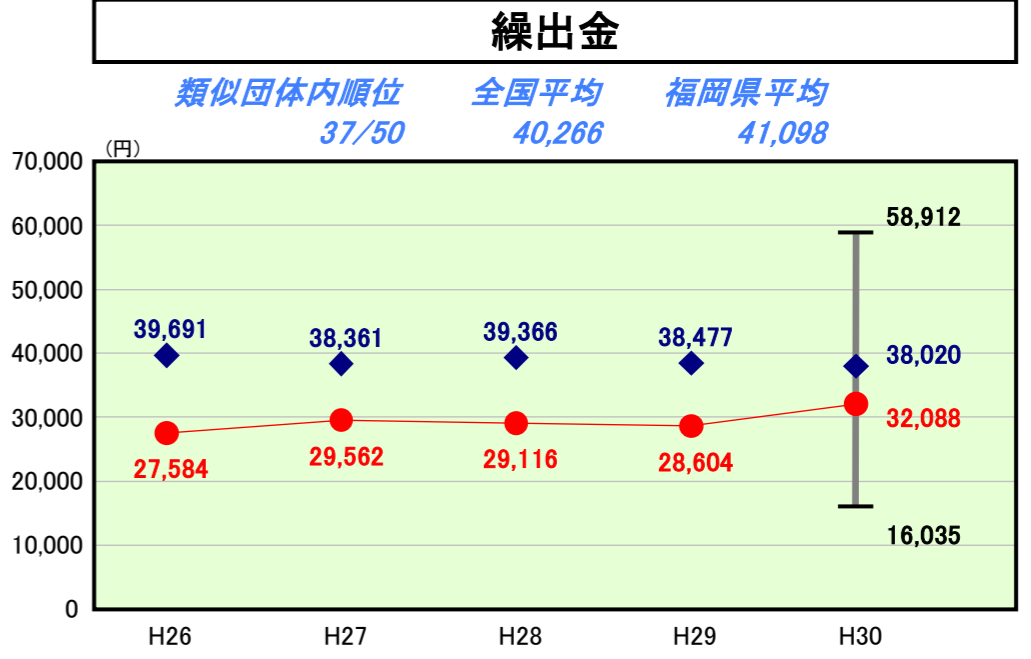
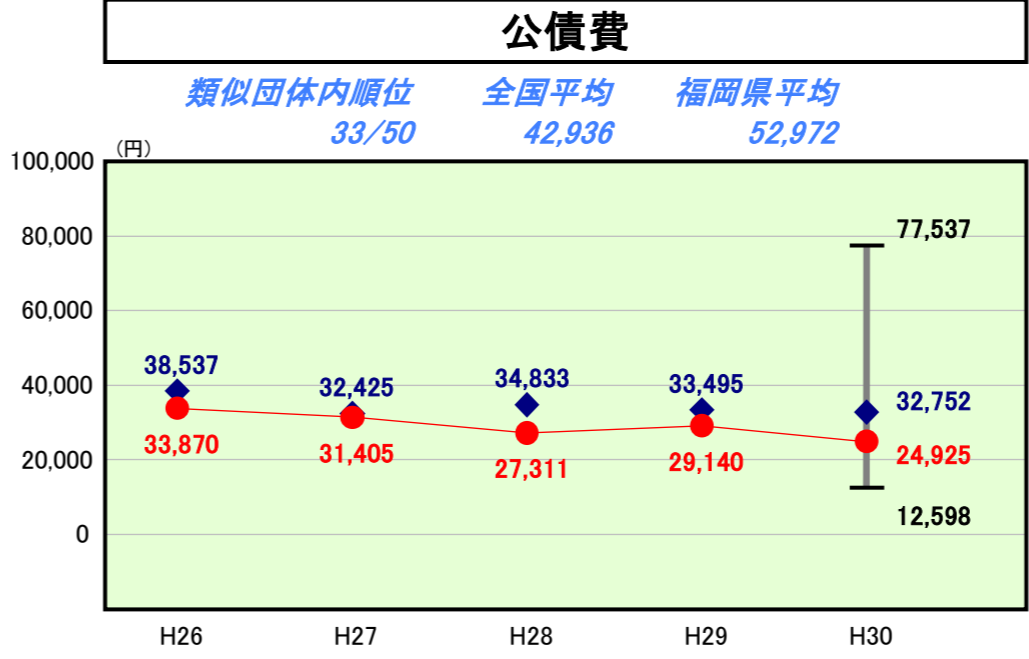
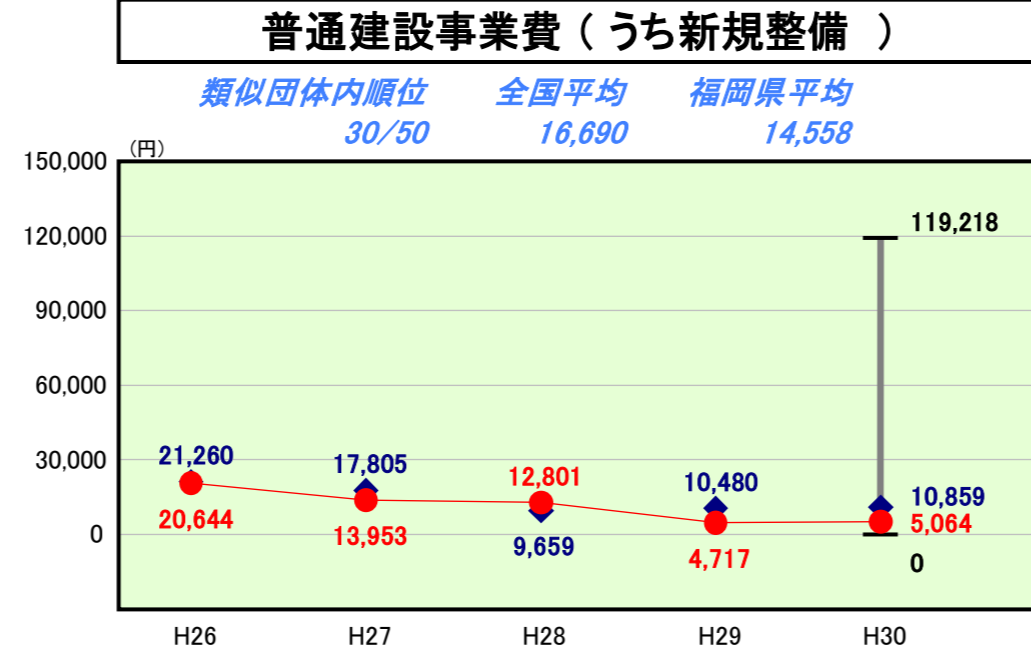
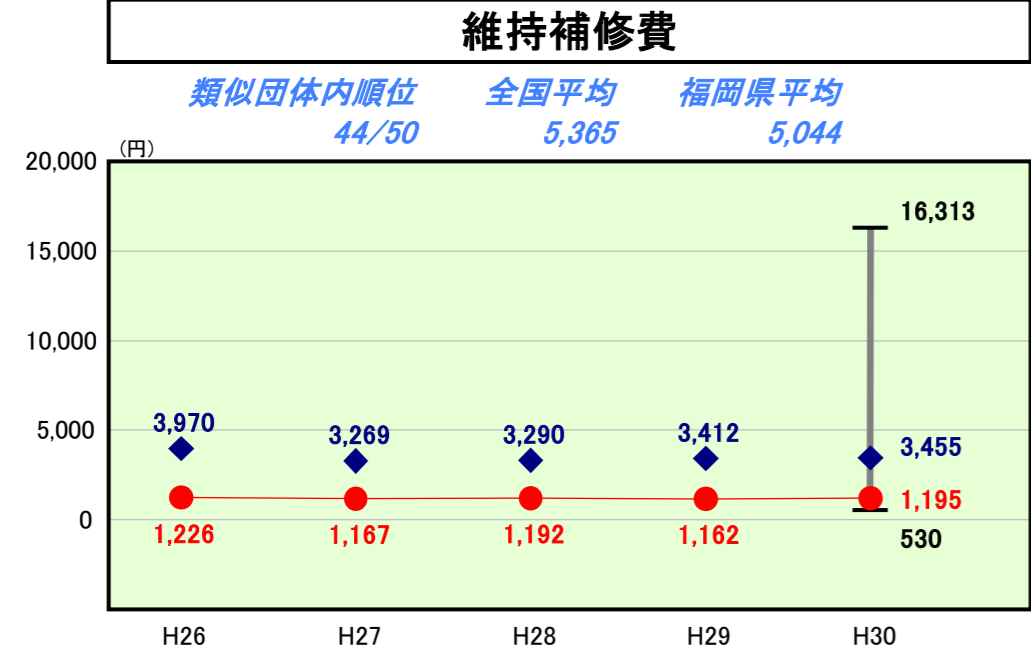
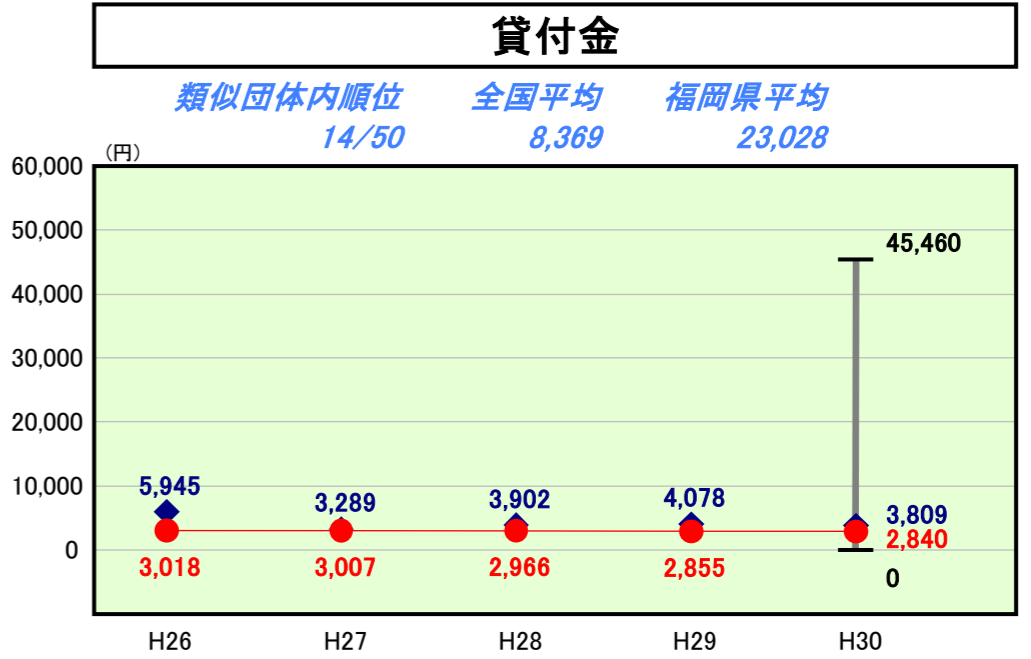
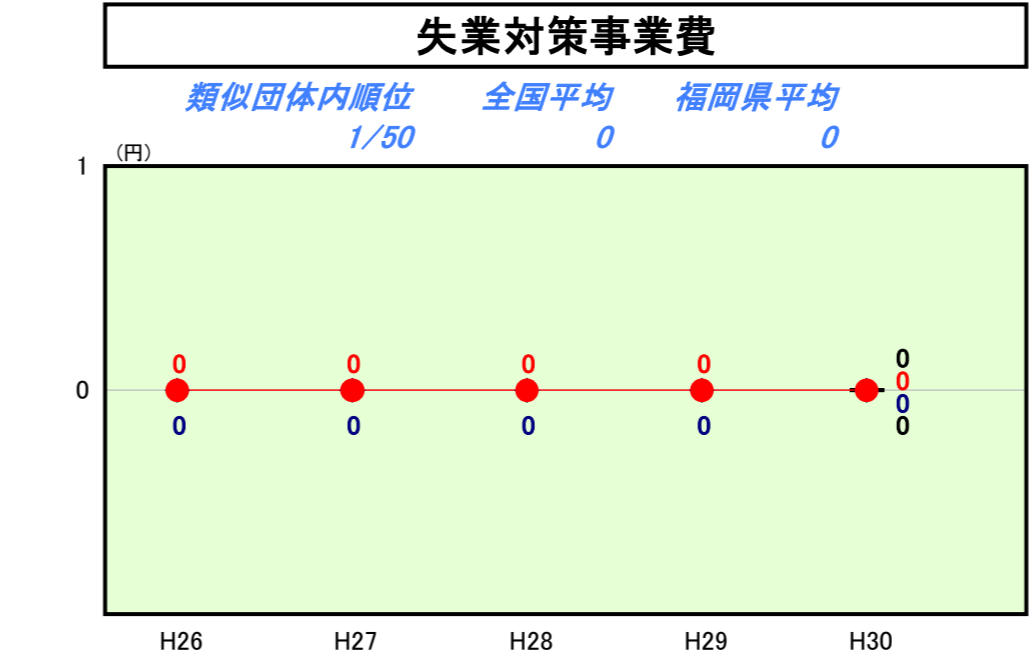
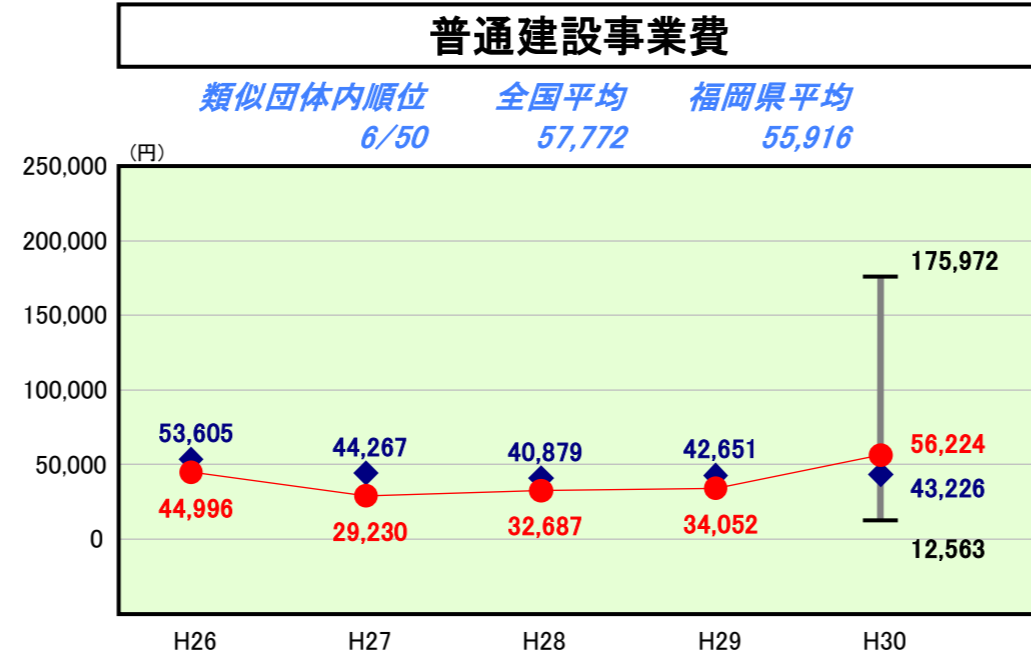
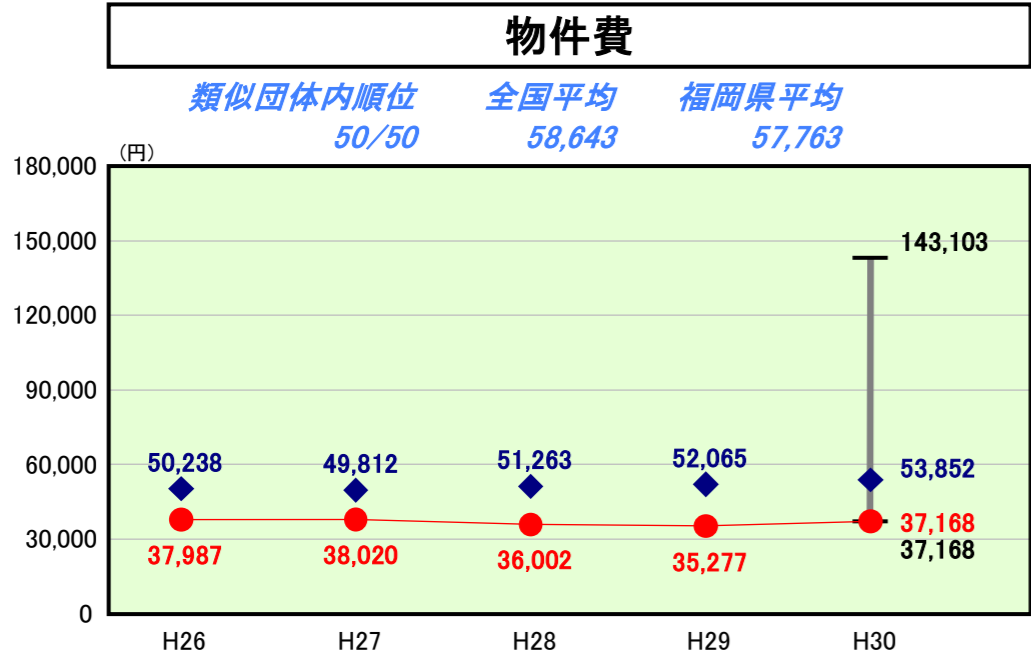
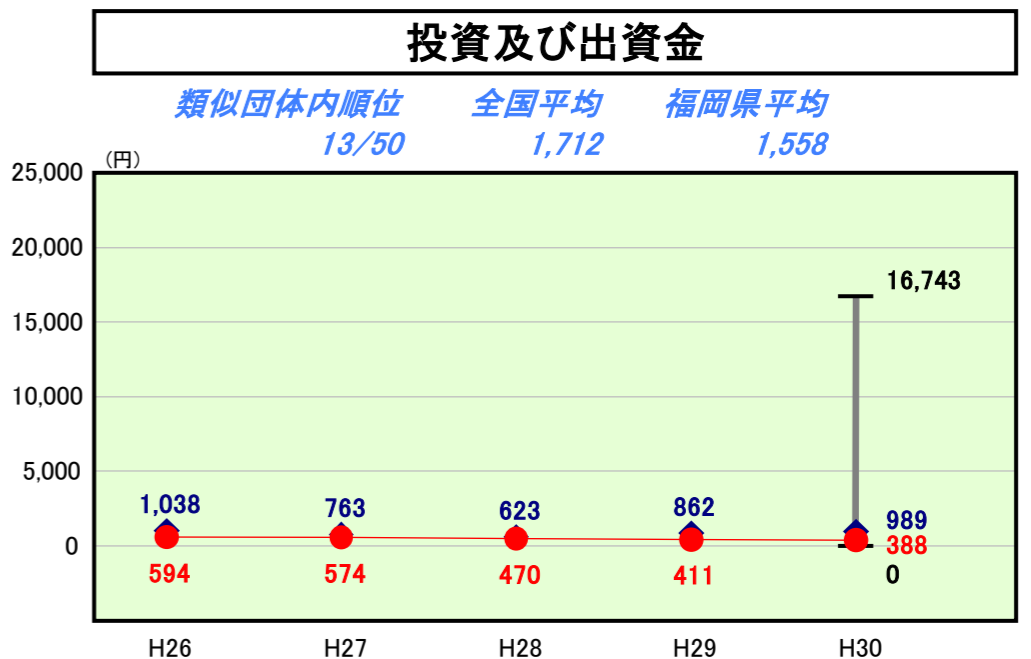
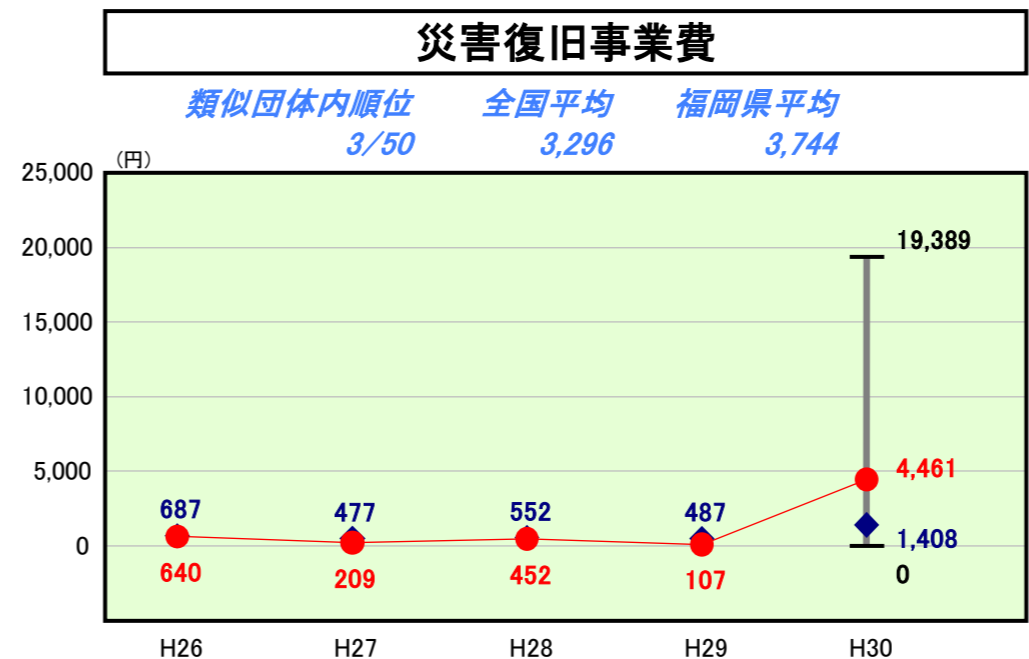
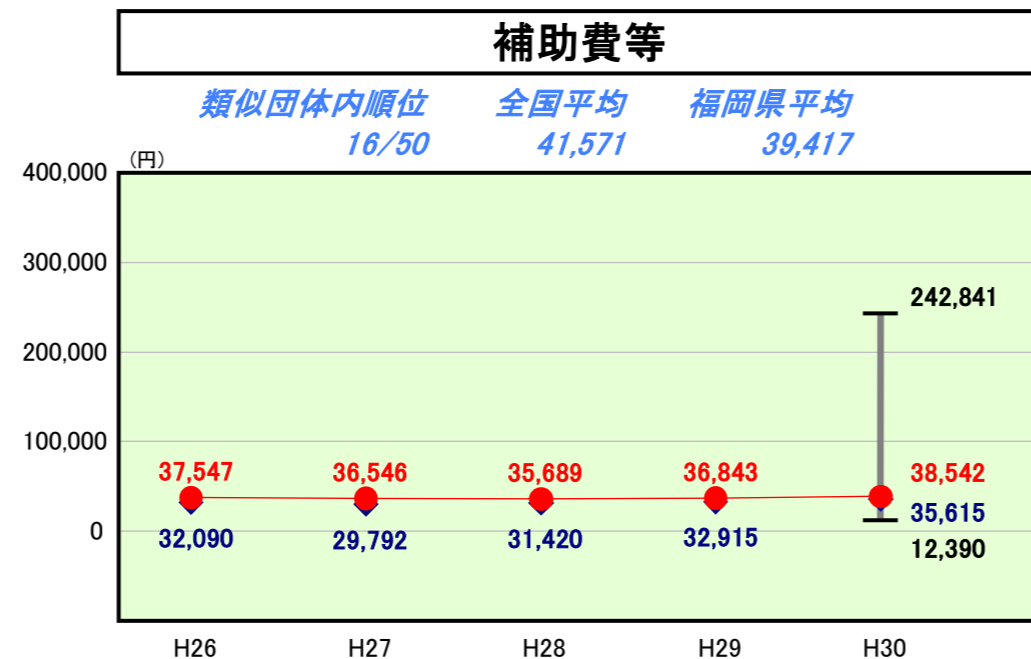
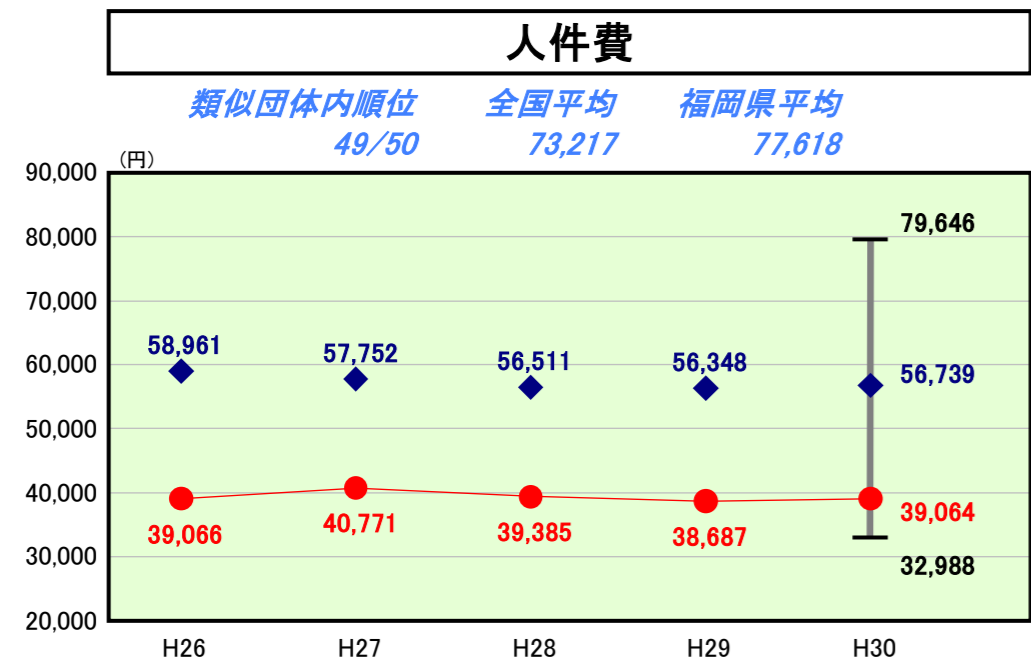
平成30年度

福岡県筑紫野市

人口	103,853 人(H31.1.1現在)	実質赤字比率	- %
うち日本人	103,277 人(H31.1.1現在)	連結実質赤字比率	- %
面積	87.73 km ²	実質公債費比率	4.8 %
歳入総額	36,319,875 千円	将来負担比率	- %
歳出総額	35,171,132 千円	市町村類型	H26 Ⅲ-1 H27 Ⅲ-3 H28 Ⅲ-3
実質収支	889,248 千円	(年度毎)	H29 Ⅲ-3 H30 Ⅲ-3
標準財政規模	18,923,766 千円		
地方債現在高	27,675,943 千円		



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成30年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

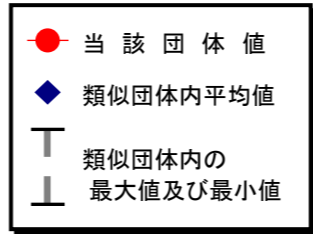


性質別歳出の分析欄

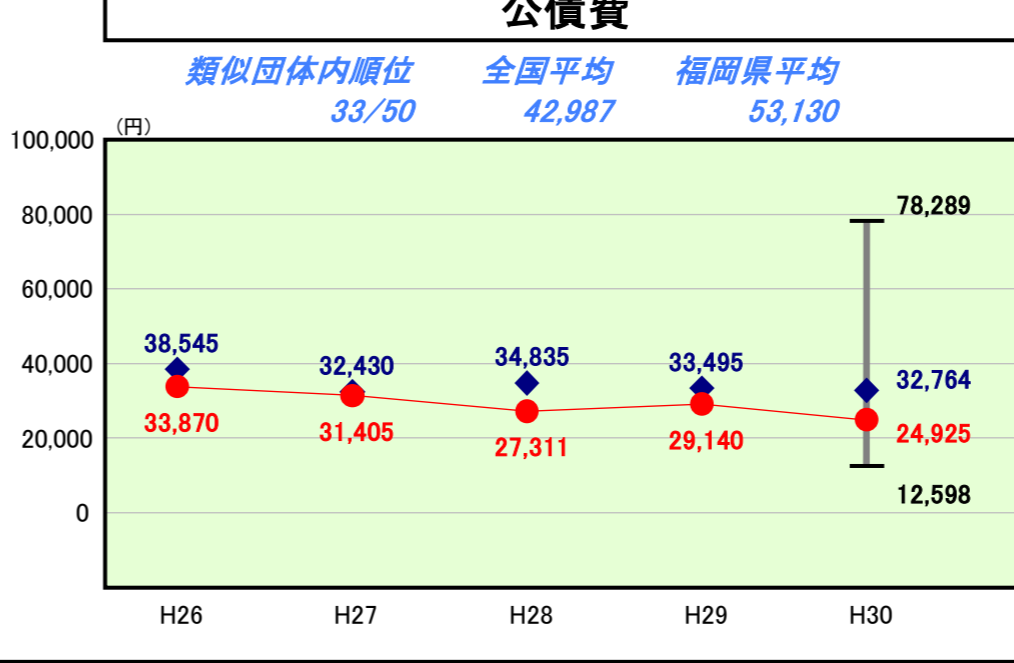
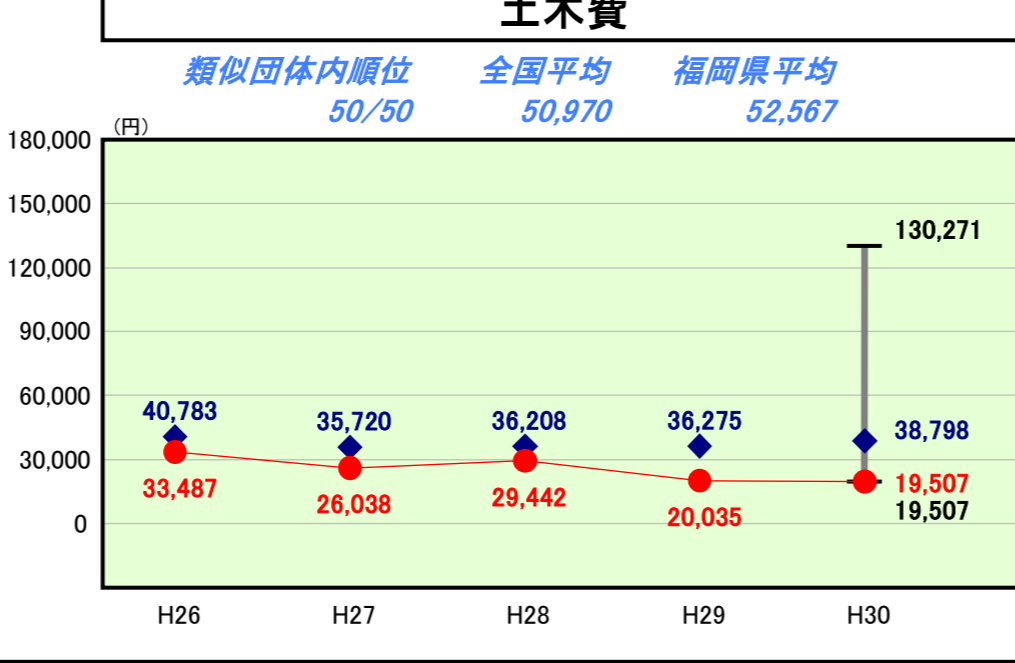
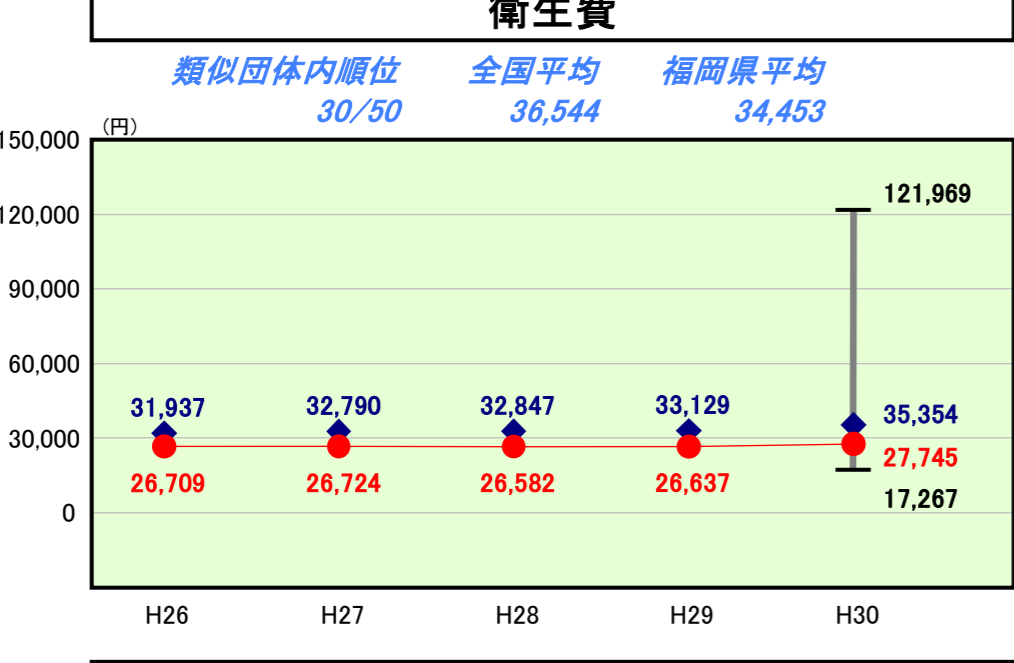
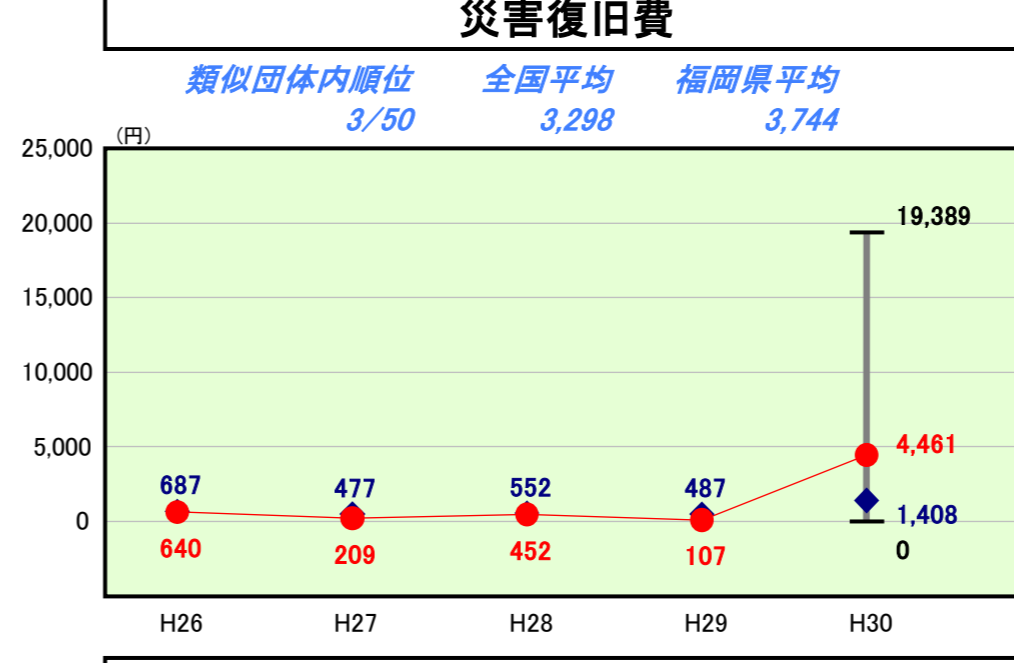
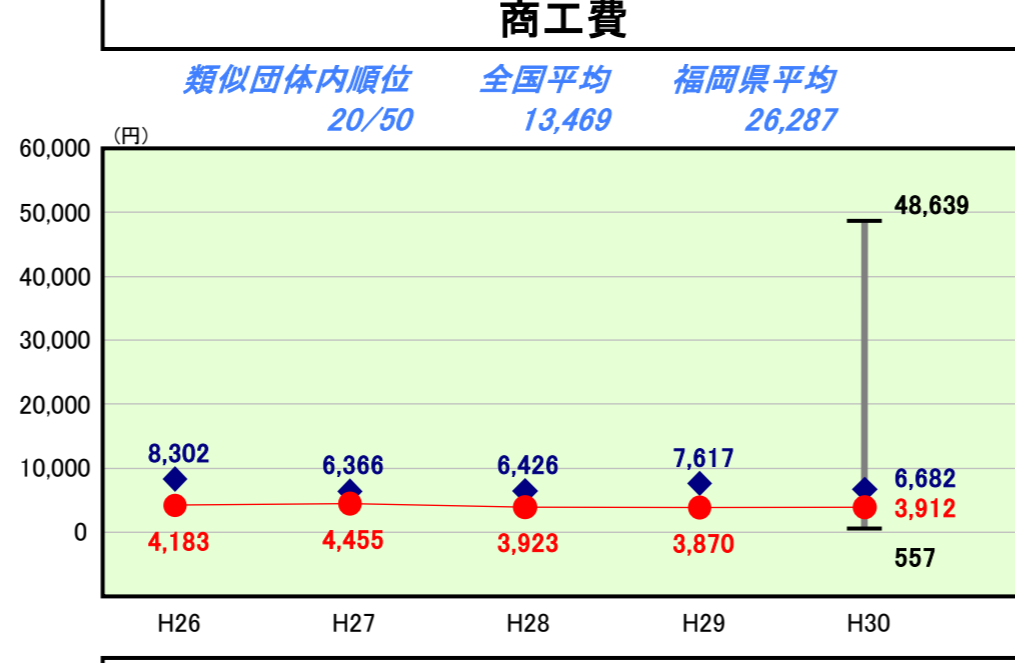
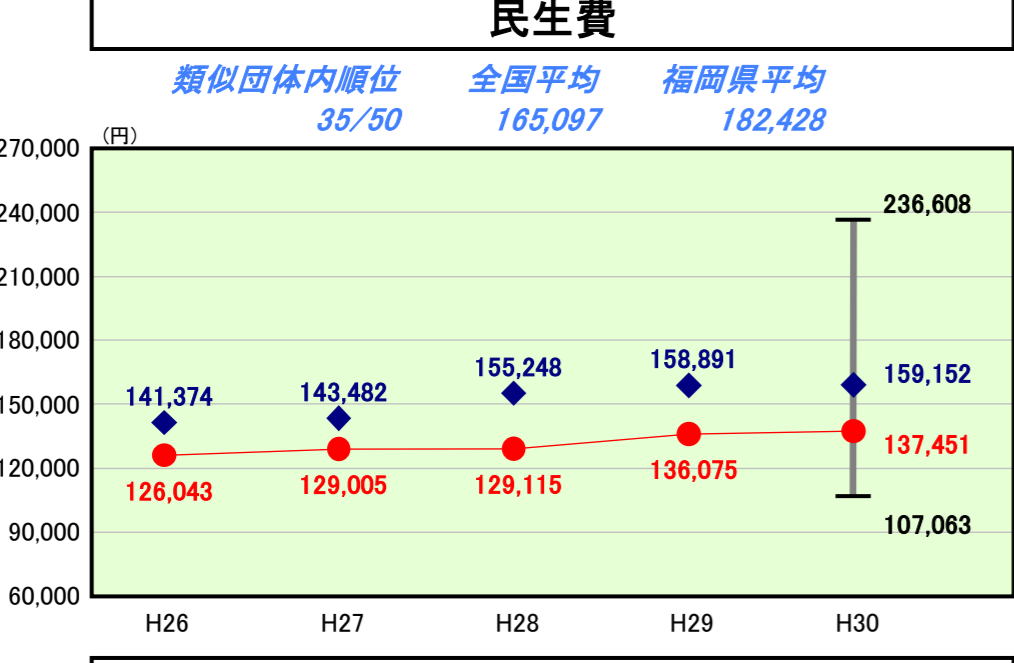
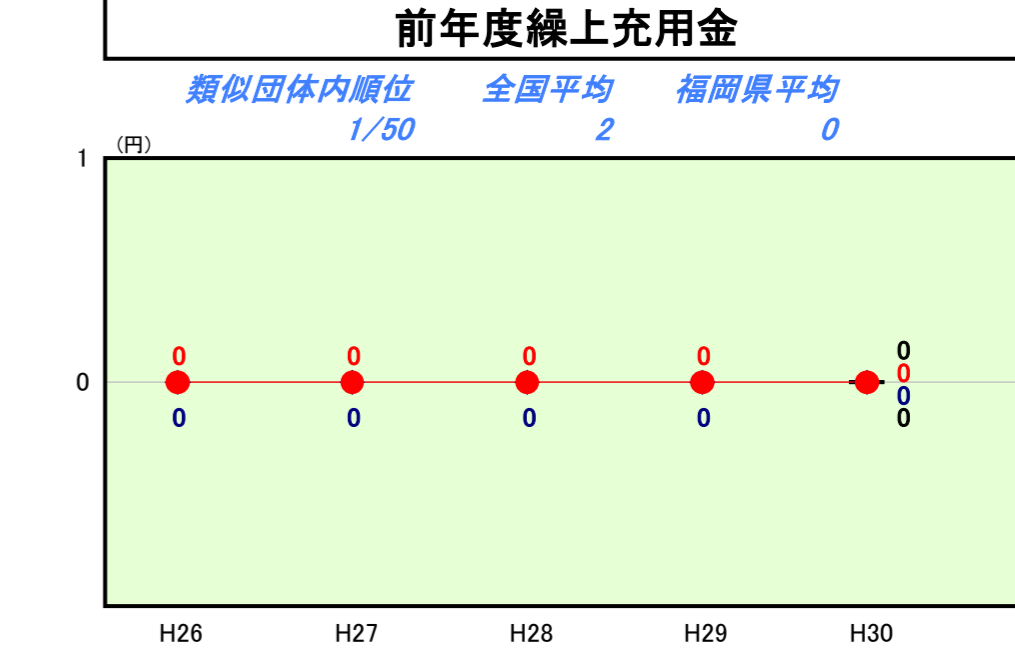
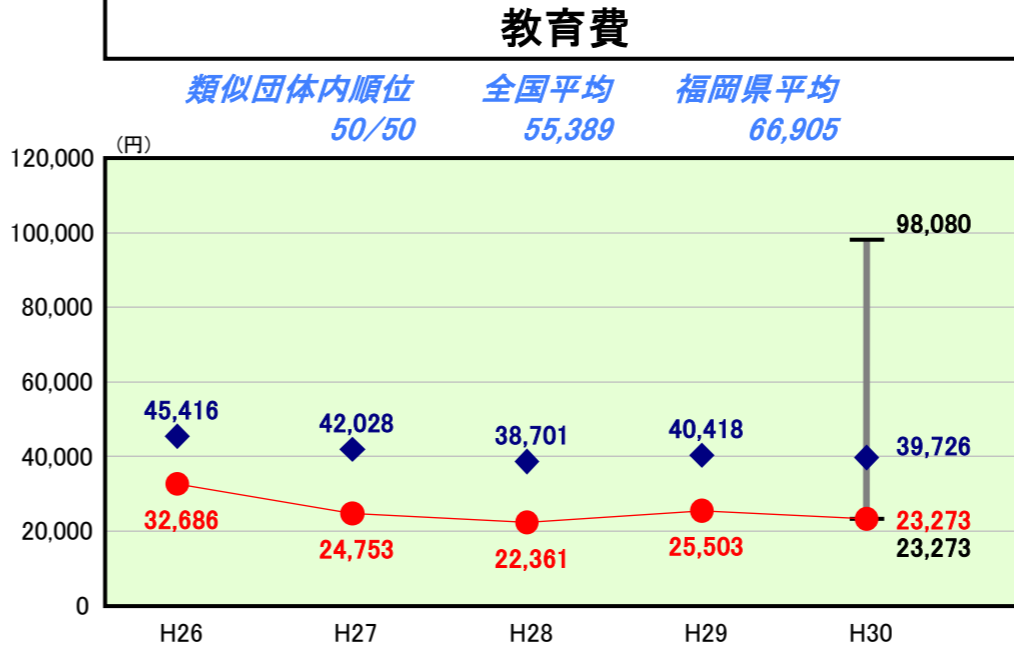
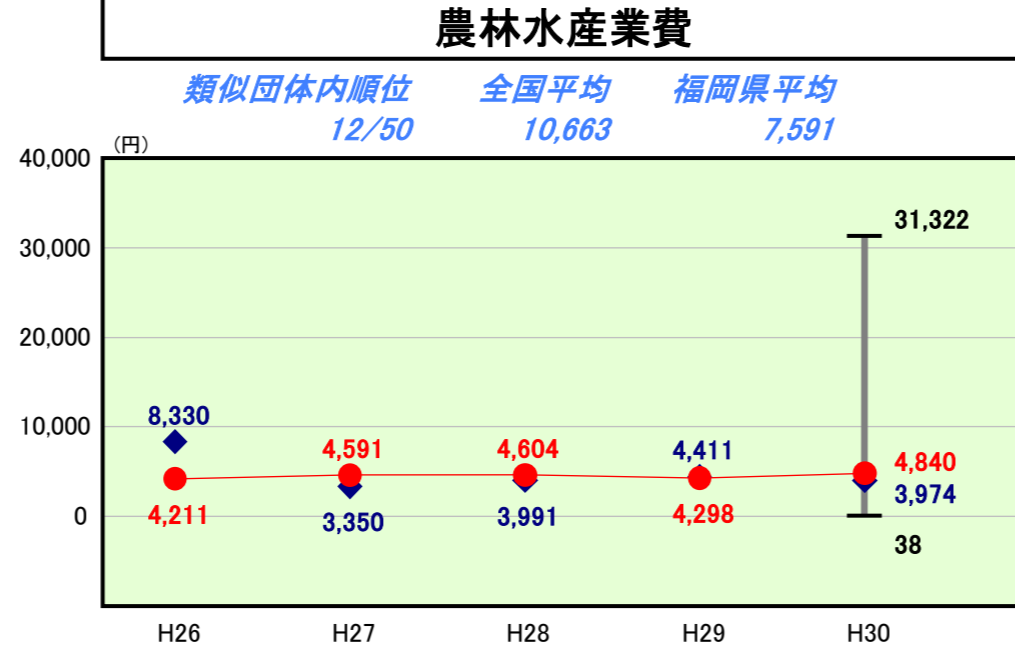
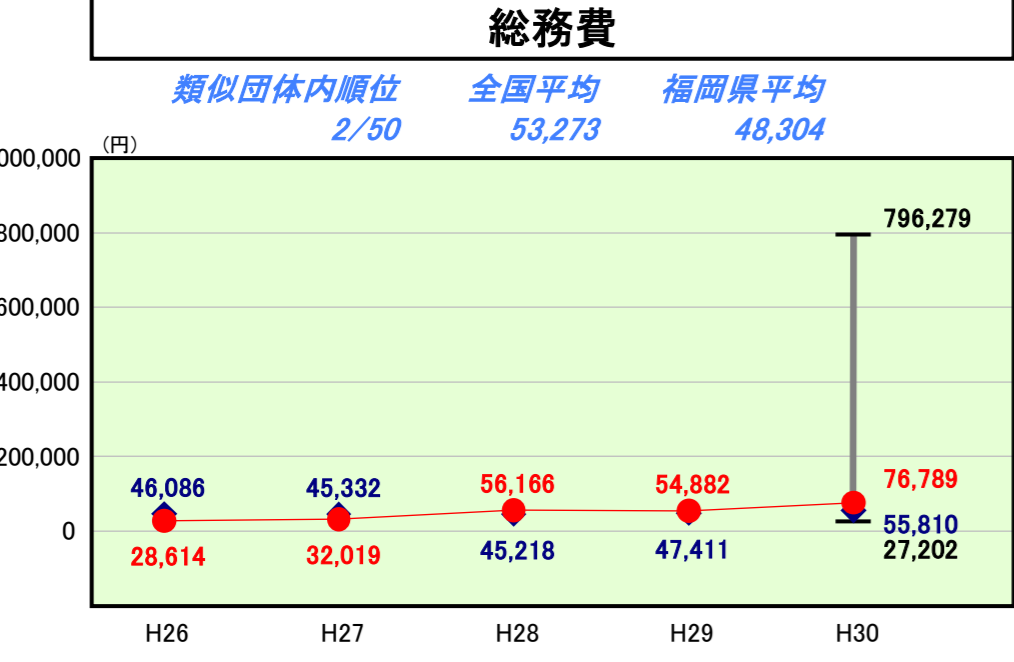
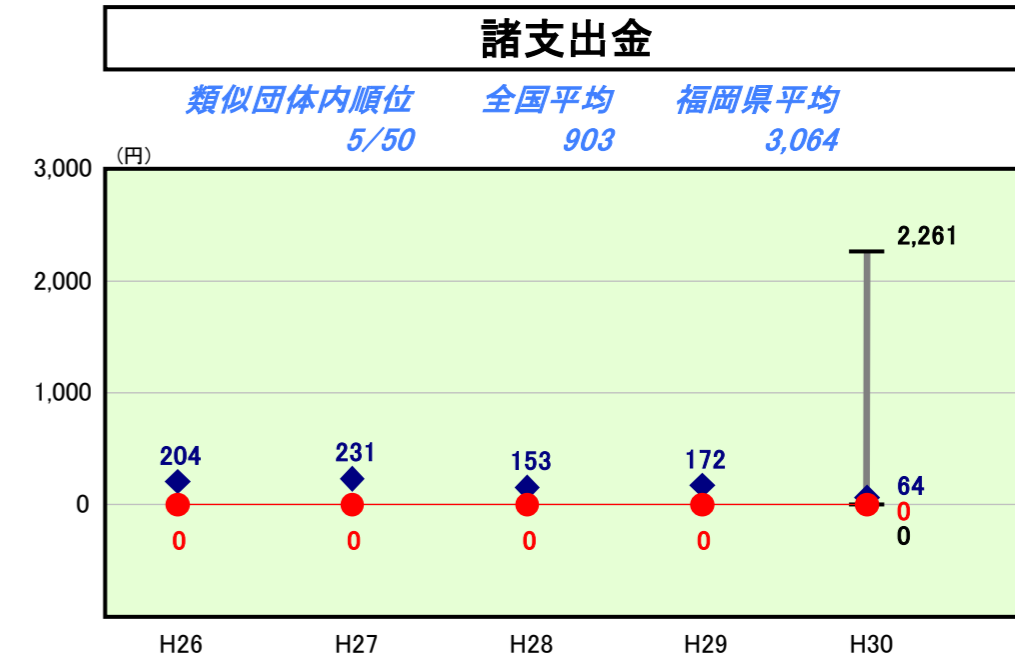
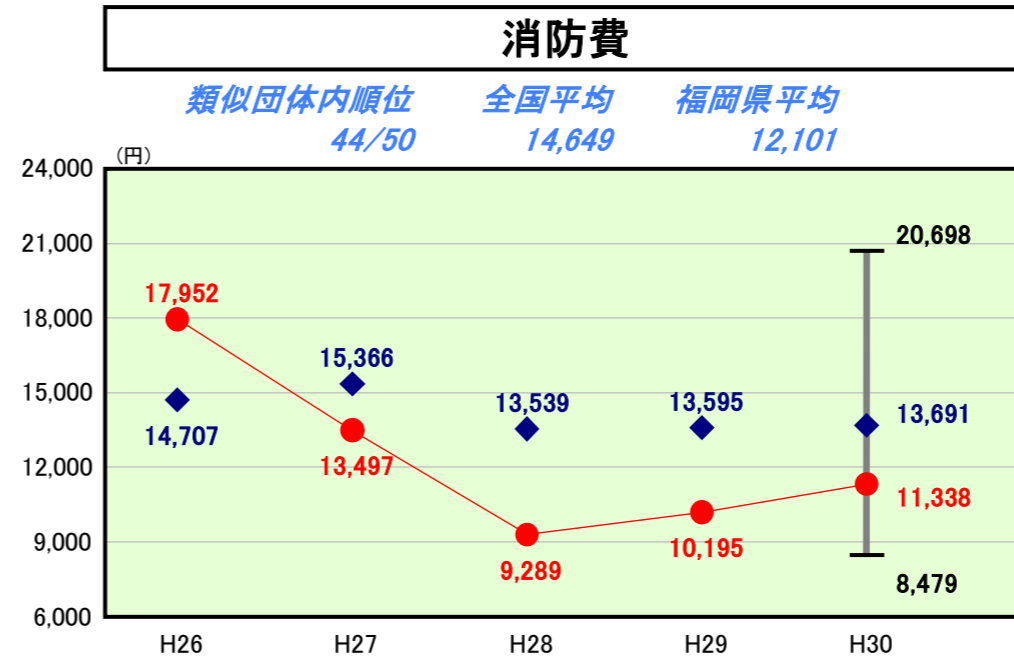
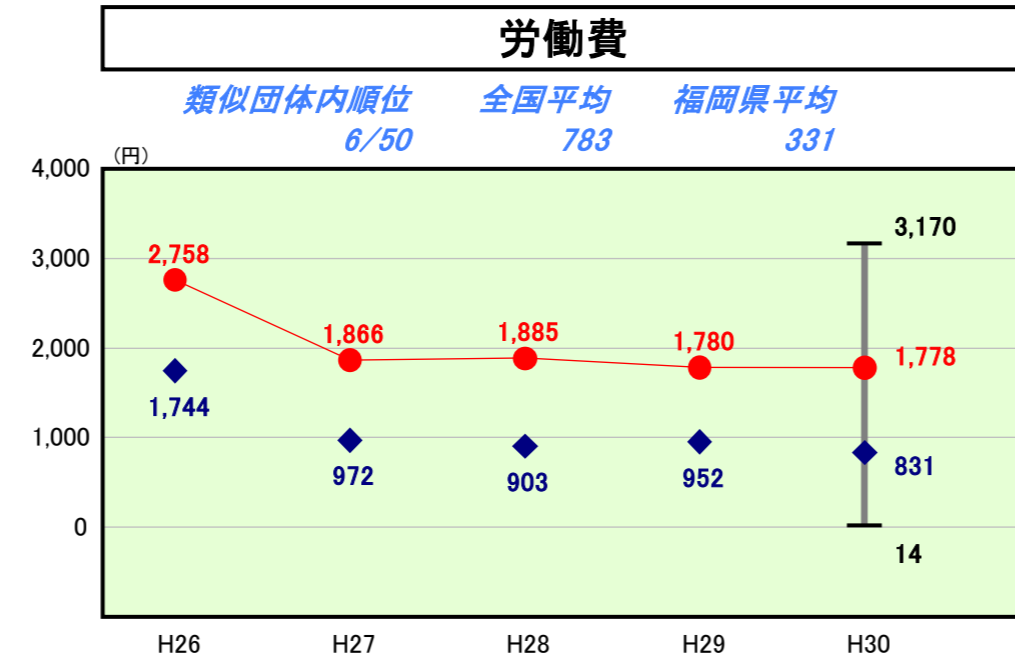
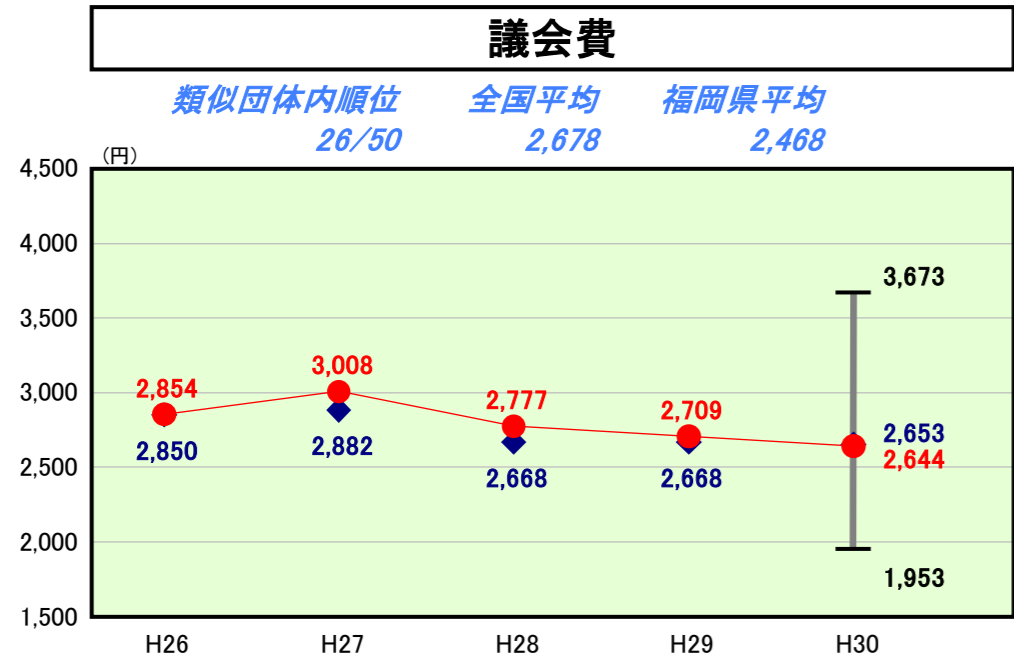
- ・補助費等は、住民一人当たり38,542円となっており、類似団体平均と比較して一人当たりコストが2,927円高い状況となっている。これは、ごみ処理事業や消防事業を一部事務組合で行っており、その負担金が大いためと考えられる。
- ・普通建設事業費(うち更新整備)は、住民一人当たり48,753円となっており、類似団体平均と比較して一人当たりコストが26,391円高い状況となっている。これは筑紫野市庁舎建設事業費の増加が主な要因であると考えられる。
- ・災害復旧事業費は、住民一人当たり4,461円となっており、類似団体平均と比較して一人当たりコストが3,053円高い状況となっている。これは平成30年7月豪雨による災害復旧事業費の増加が主な要因であると考えられる。
- ・それ以外の項目については、総じて低い水準で推移しており、効率的な財政運営がなされていると考えられる。今後、高齢化の進展に伴う扶助費の増加や市内公共施設等の老朽化に伴う維持補修費の増加などが見込まれるが、財政計画(平成28年度～令和元年度)に基づき、健全財政の維持に努めていく。

(6) 市町村目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

人口	103,853 人(H31.1.1現在)	実質赤字比率	- %
うち日本人	103,277 人(H31.1.1現在)	連結実質赤字比率	- %
面積	87.73 km ²	実質公債費比率	4.8 %
歳入総額	36,319,875 千円	将来負担比率	- %
歳出総額	35,171,132 千円	市町村類型	H26 Ⅲ-1 H27 Ⅲ-3 H28 Ⅲ-3
実質収支	889,248 千円	(年度毎)	H29 Ⅲ-3 H30 Ⅲ-3
標準財政規模	18,923,766 千円		
地方債現在高	27,675,943 千円		



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成30年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



目的別歳出の分析欄

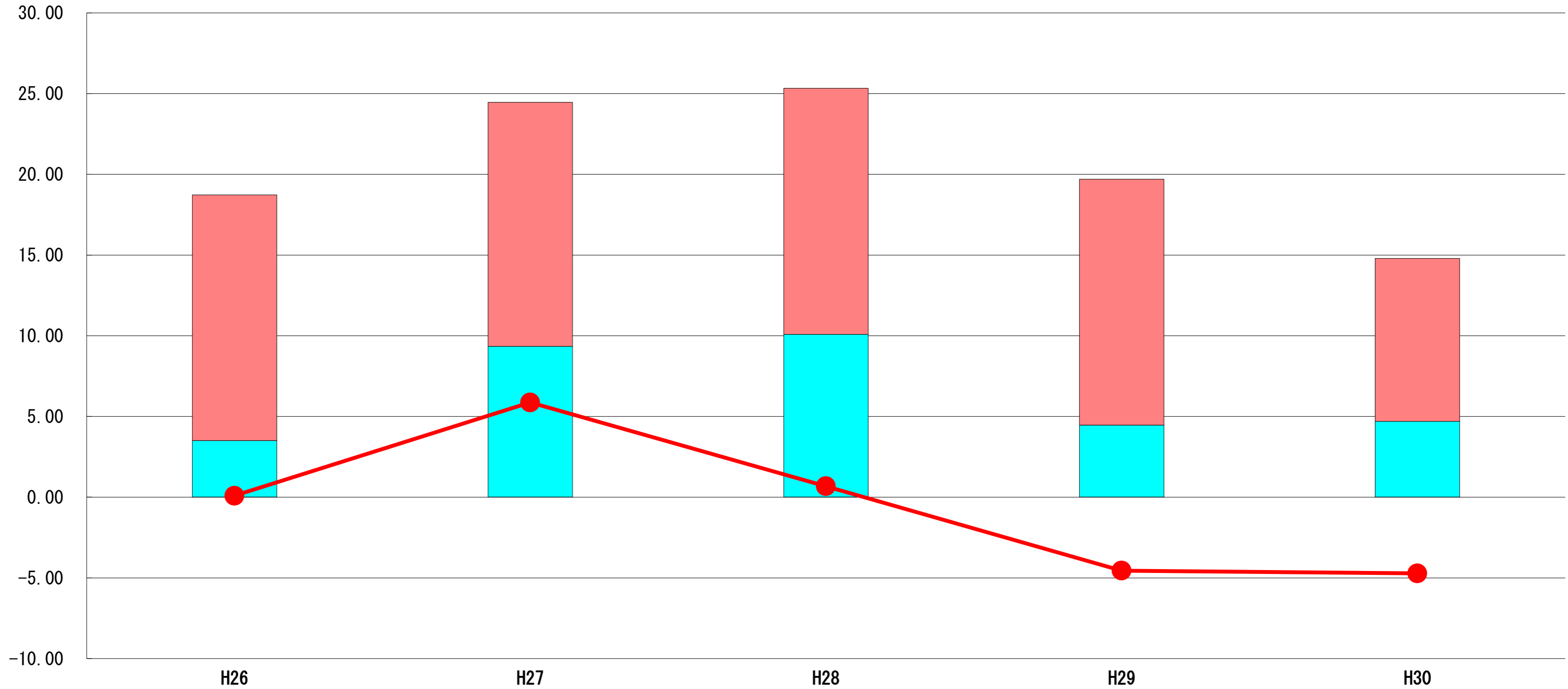
- ・総務費は、住民一人当たり76,789円となっており、類似団体平均と比較して20,979円高い状況となっている。これは、筑紫野市庁舎建設事業費の増加が主な要因であると考えられる。
- ・労働費は、住民一人当たり1,778円となっており、類似団体平均と比較して947円高い状況となっている。これは、労働者への融資促進のため、労働金庫預託事業を行い、またシルバー人材センターに対する委託を進めてきたことが主な要因であると考えられる。
- ・災害復旧費は、住民一人当たり4,461円となっており、類似団体平均と比較して3,053円高い状況となっている。これは、平成30年7月豪雨による災害復旧事業費の増加が主な要因であると考えられる。
- ・それ以外の項目については、農林水産業費が若干高いものの、総じて低い水準で推移しており、効率的な財政運営がなされていると考えられる。今後、高齢化の進展に伴う民生費の増加などが見込まれるが、財政計画(平成28年度～令和元年度)に基づき、健全財政の維持に努めていく。

(7) 実質収支比率等に係る経年分析 (市町村)




平成30年度

福岡県筑紫野市

標準財政規模比 (%)



標準財政規模比 (%)

区分	年度	H26	H27	H28	H29	H30
 財政調整基金残高		15.23	15.13	15.24	15.23	10.09
 実質収支額		3.50	9.34	10.09	4.47	4.70
 実質単年度収支		0.09	5.87	0.68	▲ 4.55	▲ 4.72

分析欄

財政調整基金残高は、平成30年度は市庁舎建設事業、災害対応に伴う取崩により前年度比5.14ポイント減少している。実質収支額については、平成30年度は前年度比0.23ポイント増加している。また、実質単年度収支については平成30年度は前年度比0.17ポイント減少している。

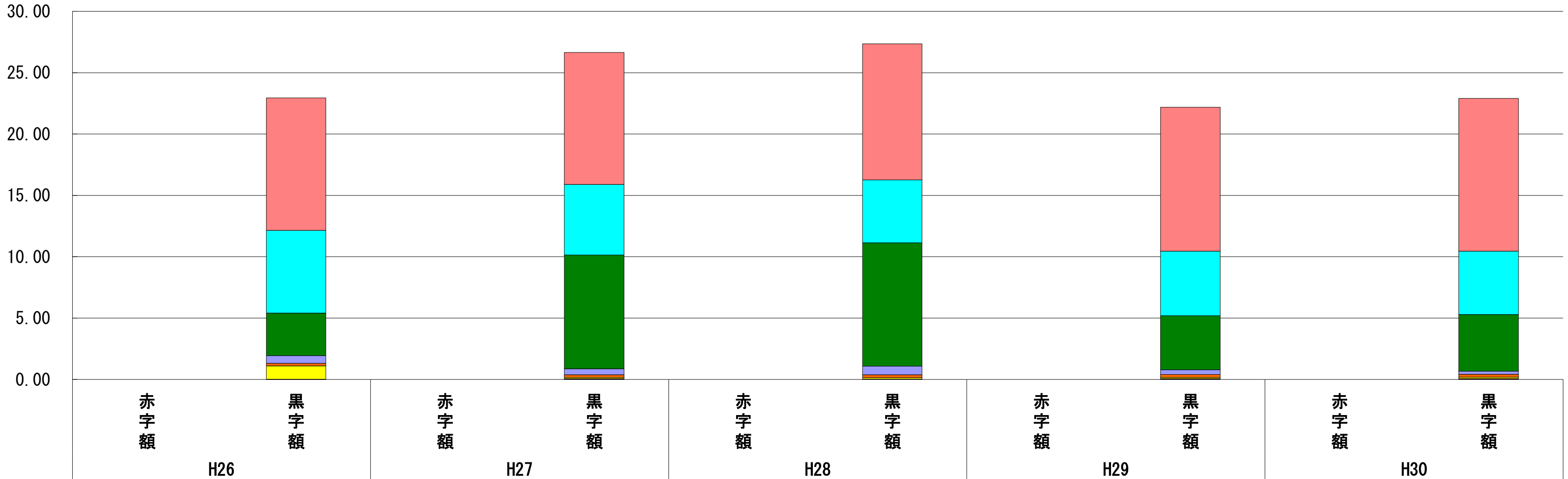
人口増加は鈍化傾向にあり、税収の大幅な伸びも期待されないことから、今後も財政計画（平成28年度～令和元年度）に基づいて実質収支の黒字を継続するとともに、収支均衡を図った財政運営を行っていく。

(8) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

平成30年度

福岡県筑紫野市

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

会計	年度	H26	H27	H28	H29	H30
水道事業会計		10.80	10.76	11.08	11.74	12.45
下水道事業会計		6.74	5.75	5.13	5.26	5.16
一般会計		3.47	9.27	10.04	4.40	4.62
介護保険事業特別会計		0.62	0.49	0.71	0.39	0.25
後期高齢者医療事業特別会計		0.22	0.21	0.23	0.24	0.24
国民健康保険事業特別会計		1.08	0.10	0.11	0.10	0.11
住宅新築資金等貸付事業特別会計		0.02	0.07	0.04	0.06	0.07
奨学資金貸与事業特別会計		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他会計（赤字）		-	-	-	-	-
その他会計（黒字）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

分析欄

公営企業会計を含む全会計において、赤字及び資金不足となっている会計はなく、連結実質赤字額はゼロである。

各会計の黒字額については、年度によって多少の増減はあるものの、概ね同規模で推移しているといえる。今後も赤字及び資金不足が発生しないよう財政運営、企業経営を行っていく。

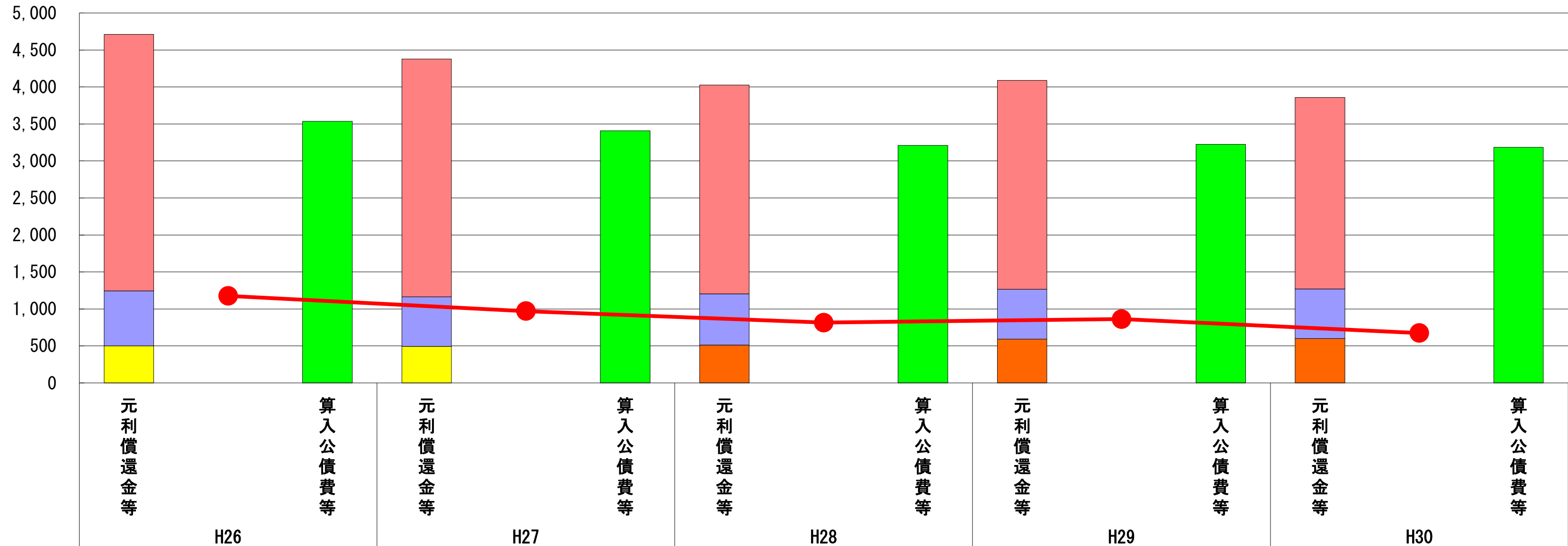
※平成31年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(9) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成30年度

福岡県筑紫野市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H26	H27	H28	H29	H30
元利償還金等 (A)	元利償還金		3,469	3,217	2,822	2,822	2,588
	減債基金積立不足算定額※2		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		743	668	693	673	670
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		0	0	511	592	600
	債務負担行為に基づく支出額		500	494	0	0	0
	一時借入金の利子		-	-	-	-	0
算入公債費等 (B)	算入公債費等		3,536	3,408	3,210	3,225	3,184
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		1,176	971	816	862	674

分析欄

実質公債費比率は、市債発行の抑制と計画的な償還に努めたことにより元利償還金が減少傾向にあるため、前年度から0.7ポイント改善し、4.8%である。
今後も財政計画（平成28年度～令和元年度）に基づき、健全財政の維持のため計画的な償還に努めていく。

※1 平成31年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考)

※2 減債基金積立状況等		年度	H25末	H26末	H27末	H28末	H29末
減債基金残高 (注)			-	-	-	-	-
減債基金積立相当額			-	-	-	-	-

分析欄

満期一括償還地方債を発行していないため、該当はない。

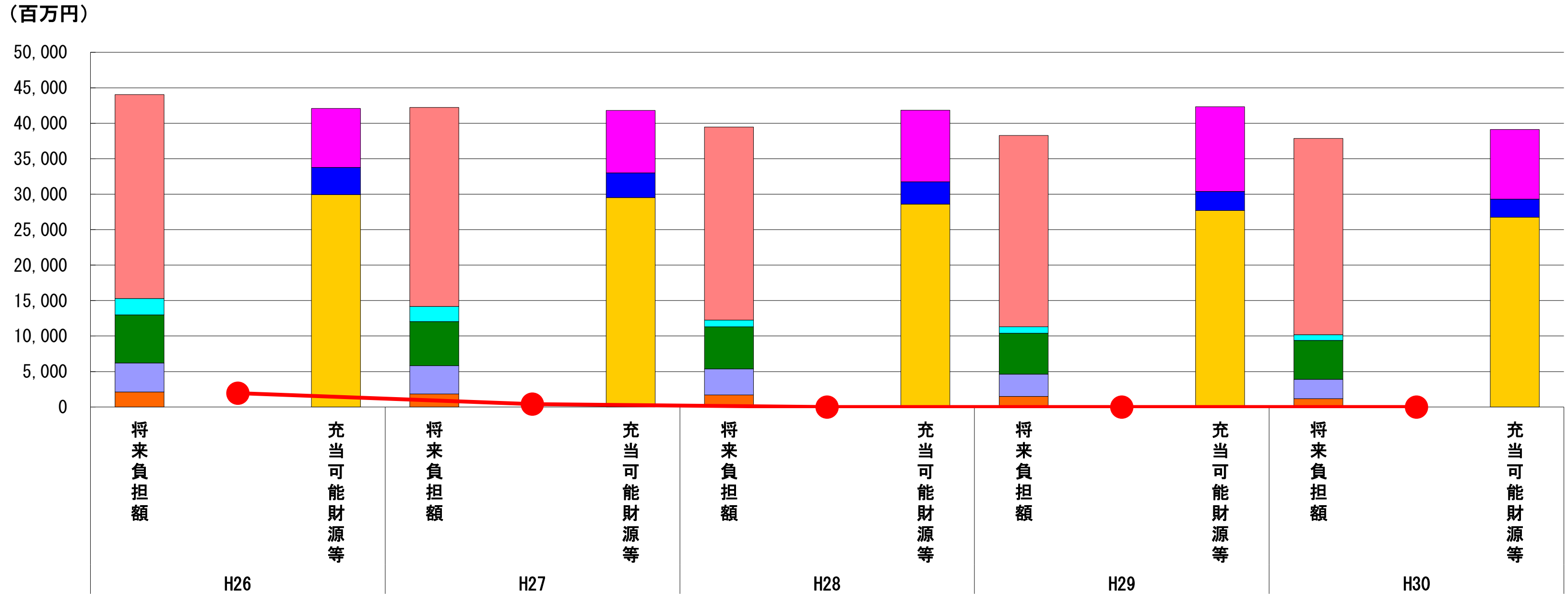
(注) 減債基金残高のうち、実質公債費比率の算定に用いる満期一括償還地方債の償還の財源として積み立てた額に係るもののみを記入。

減債基金積立金の年度を超えた一般会計又は特別会計への貸付額は控除して記入。

(10) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成30年度

福岡県筑紫野市



(百万円)

分子の構造		年度	H26	H27	H28	H29	H30
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		28,767	28,061	27,203	26,961	27,676
	債務負担行為に基づく支出予定額		2,312	2,114	952	914	820
	公営企業債等繰入見込額		6,752	6,208	5,920	5,771	5,471
	組合等負担等見込額		4,116	4,013	3,664	3,141	2,714
	退職手当負担見込額		2,104	1,827	1,718	1,484	1,189
	設立法人等の負債額等負担見込額		-	-	-	-	-
	うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		8,330	8,799	10,111	11,948	9,815
	充当可能特定歳入		3,839	3,520	3,125	2,683	2,552
	基準財政需要額算入見込額		29,930	29,499	28,617	27,704	26,739
(A) - (B)	将来負担比率の分子		1,953	406	▲ 2,396	▲ 4,065	▲ 1,235

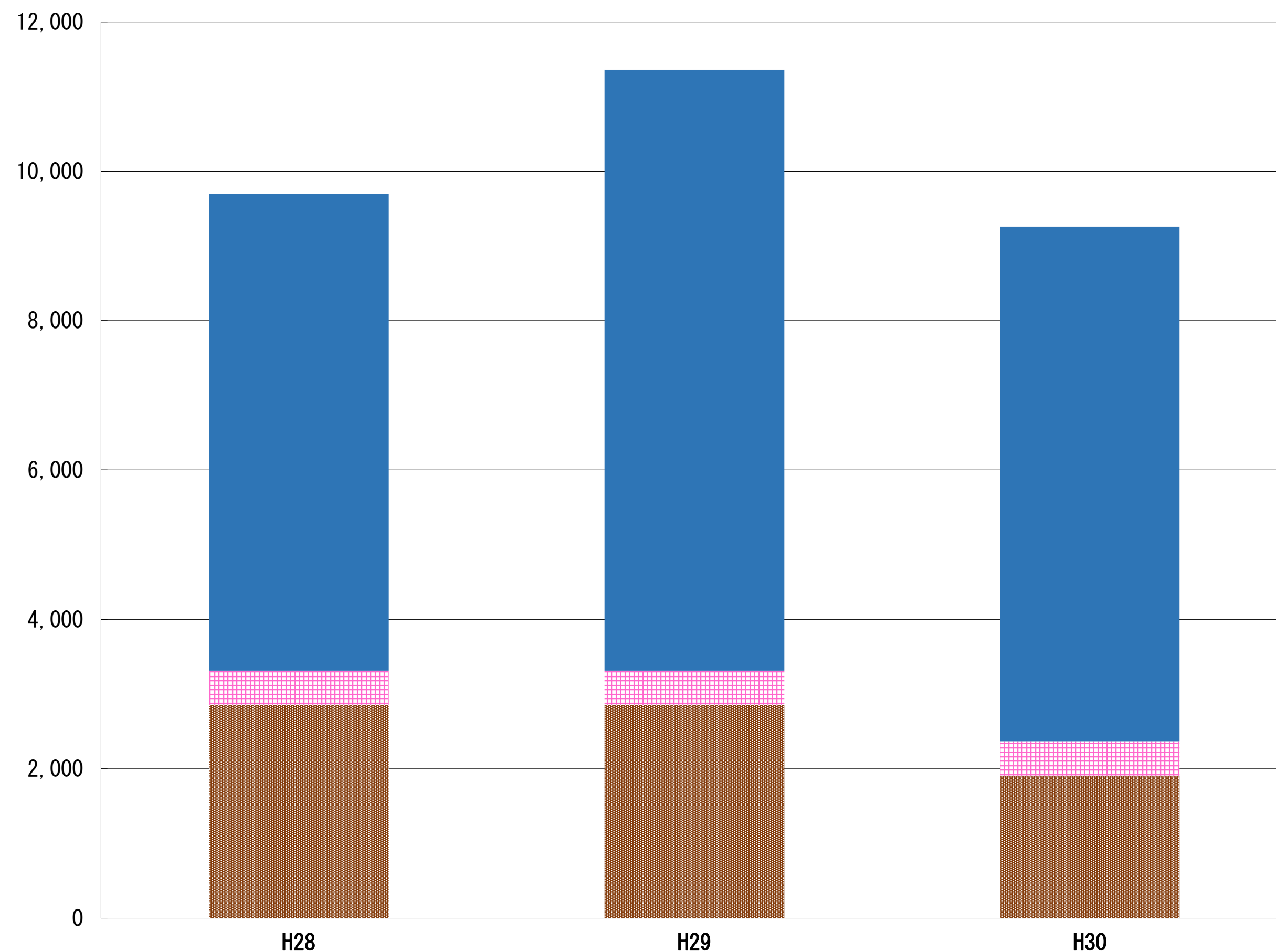
分析欄

平成30年度は、組合等負担等見込額が約4.3億円減となったものの、市庁舎建設事業に伴い、計画どおり地方債や基金を活用したことが主な要因であり、将来負担比率の分子は増となった。
今後も財政計画（平成28年度～令和元年度）に基づき、計画的な財政運営を行っていく。

※平成31年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(11) 基金残高（東日本大震災分を含む）に係る経年分析（市町村）

（百万円）



（百万円）

区分	年度	H28	H29	H30
財政調整基金		2,855	2,855	1,909
減債基金		461	461	461
その他特定目的基金		6,382	8,041	6,887
公共施設等整備基金		3,882	5,480	5,636
創生振興基金		644	693	865
温泉地施設の整備等に関する基金		220	222	225
環境基金		58	66	77
庁舎建設基金		1,538	1,539	39
基金残高合計		9,698	11,357	9,257

平成30年度

福岡県筑紫野市

基金全体

（増減理由）

市庁舎建設に充てるため庁舎建設基金を15億円、市庁舎建設、災害対応に充てるため財政調整基金を約9億5千万円を取り崩したことなどにより、基金全体としては約21億円の減となった。

（今後の方針）

将来における人口減少及び景気の変動に伴う歳入減少や、公共施設等の老朽化対策及び災害などの歳出増加への備え等のため、基金の目的に沿った積立及び取崩を行う。

財政調整基金

（増減理由）

市庁舎建設、災害対応に伴う取り崩しによる減少

（今後の方針）

災害や経済事情の著しい変動等に備えるため、財政調整基金の残高は、標準財政規模の1割程度を確保するように努めることとしている。

減債基金

（増減理由）

基金運用に伴い発生した利子の積立による増加

（今後の方針）

起債償還額は今後著しい増減が見込まれないことから、現在の残高を大きく増減させることなく財政運営を行っていく。

その他特定目的基金

（基金の用途）

- ・公共施設等整備基金：将来における公共施設等整備財源に充てるため
- ・創生振興基金：「心づくしの里づくり」事業を推進し、住民が誇りと愛着のもてるふるさとを創る費用に充てるため

（増減理由）

- ・公共施設等整備基金：市庁舎建設事業に充てるため5億円取り崩したものの、将来における公共施設等整備財源として約6億6千万円積み立てたことによる増加
- ・創生振興基金：平成29年度分ふるさと応援寄附金を約1億7千万円積み立てたことによる増加
- ・庁舎建設基金：市庁舎建設事業に充てるため15億円取り崩したことによる減少

（今後の方針）

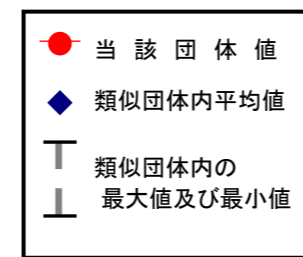
- ・公共施設等整備基金：将来における公共施設等整備財源に充てるため、積立を行う。なお、筑紫野市公共施設等総合管理計画において、将来の公共施設の更新等に係る経費について今後多額の経費が必要となることが見込まれていることから、中長期的には減少していく見込である。
- ・創生振興基金：受け入れたふるさと応援寄附金については積立を行った上で、ふるさと応援寄附金の用途メニューに応じた基金の活用を検討する。

(12)市町村公会計指標分析／財政指標組合せ分析表

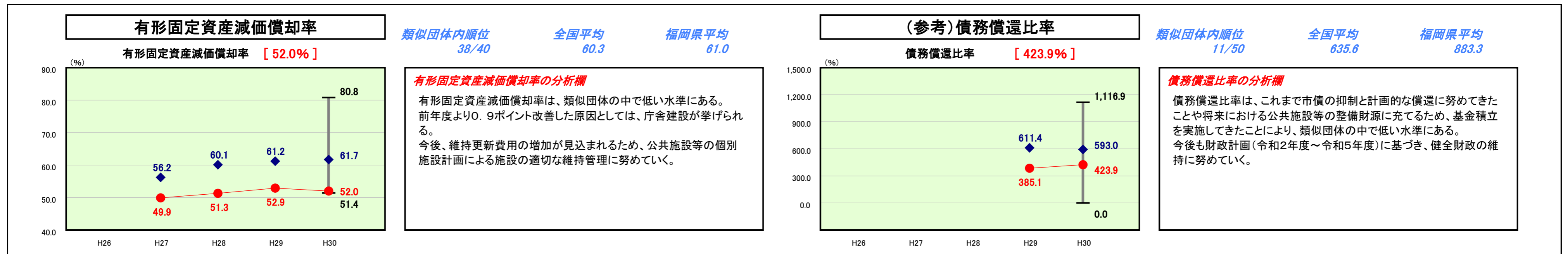
平成30年度

福岡県筑紫野市

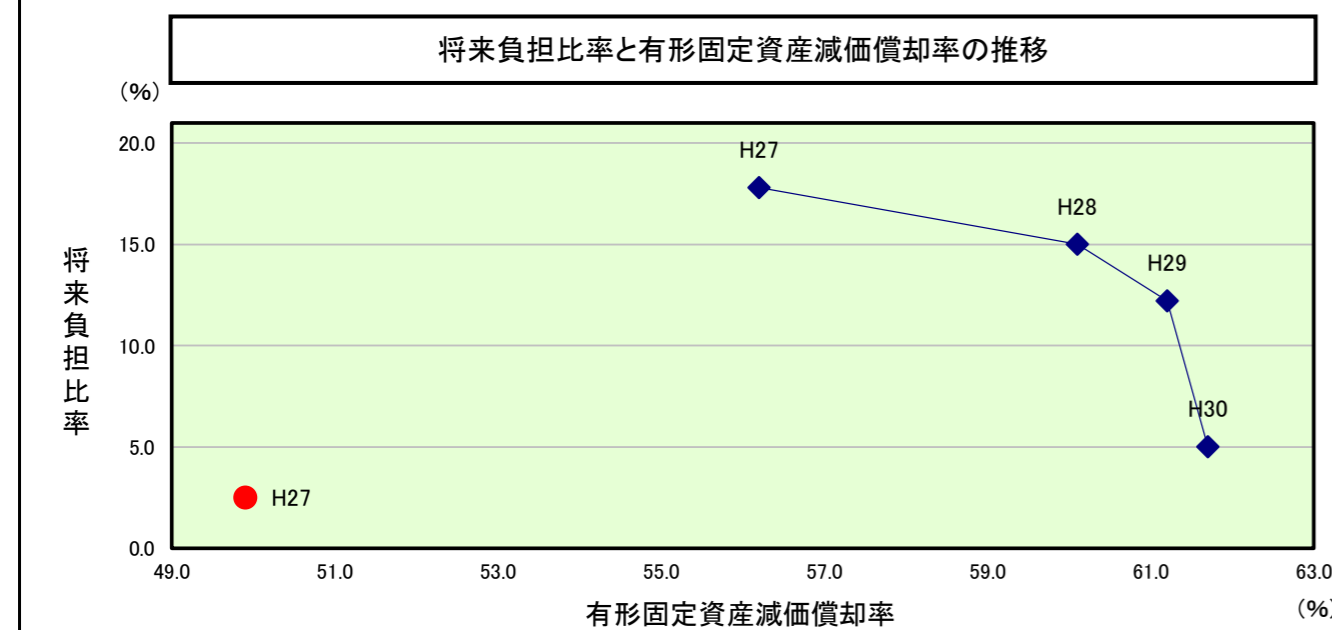
人口	103,853 人 (H31.1.1現在)	実質赤字比率	- %
うち日本人	103,277 人 (H31.1.1現在)	連結実質赤字比率	- %
面積	87.73 km ²	実質公債費比率	4.8 %
歳入総額	36,319,875 千円	将来負担比率	- %
歳出総額	35,171,132 千円	市町村類型	H26 Ⅲ-1 H27 Ⅲ-3 H28 Ⅲ-3
実質収支	889,248 千円	(年度毎)	H29 Ⅲ-3 H30 Ⅲ-3
標準財政規模	18,923,766 千円		
地方債現在高	27,675,943 千円		



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口に基づいている。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成30年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。
 ※ 平成31年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体毎の決算に基づく健全化判断比率等を算出していない団体については、債務償還比率、実質公債費率、将来負担比率のグラフを表記しない。



将来負担比率及び有形固定資産減価償却率の組合せによる分析

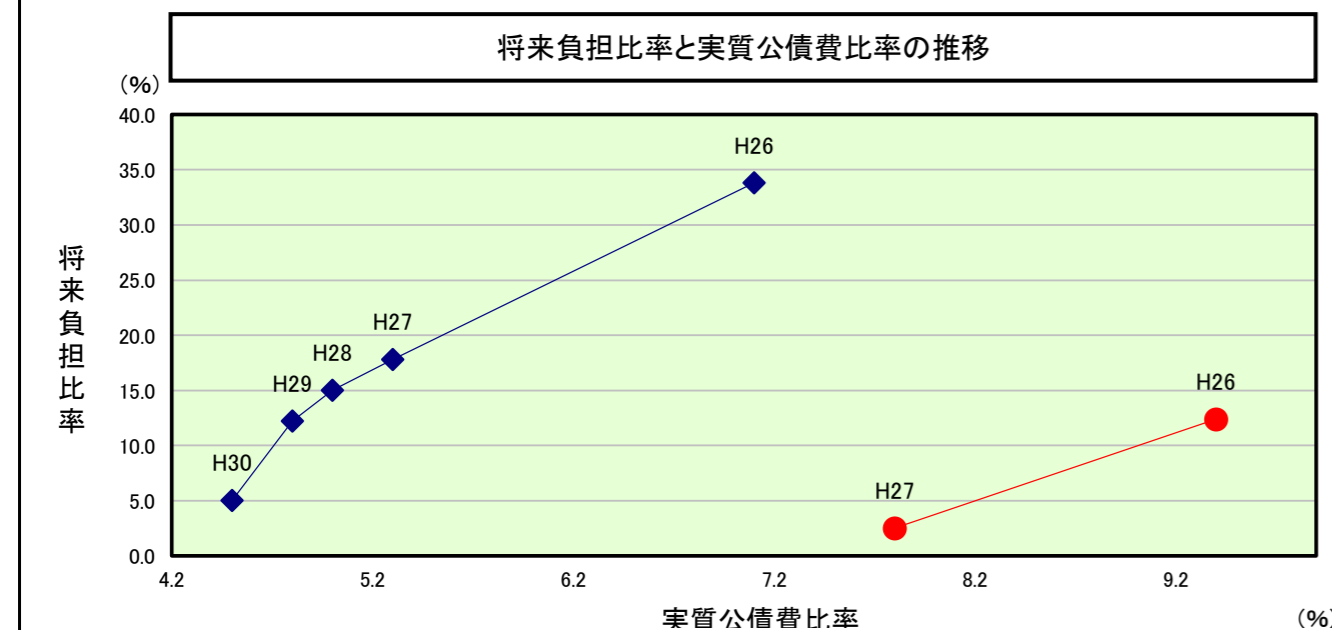


分析欄
将来負担比率は、地方債現在高の減少、基金残高の増加等により、平成28年度から算定なしとなっている。有形固定資産減価償却率は、前年度に比べると、0.9ポイント改善しており、類似団体の中でも低い水準にある。今後も財政計画(令和2年度～令和5年度)に基づき、健全財政の維持に努め、施設の維持管理を適切に進めていく。

(参考)

		H26	H27	H28	H29	H30
当該団体値	将来負担比率		2.5	-	-	-
	有形固定資産減価償却率		49.9	51.3	52.9	52.0
類似団体内平均値	将来負担比率		17.8	15.0	12.2	5.0
	有形固定資産減価償却率		56.2	60.1	61.2	61.7

将来負担比率及び実質公債費比率の組合せによる分析



分析欄
将来負担比率は、平成28年度から算定なしとなっている。実質公債費比率は、元利償還金の減少等により、平成26年度から毎年改善しており、前年度に比べて0.7ポイント改善している。また、類似団体に比べて、実質公債費比率は0.3ポイント上回っているものの、将来負担比率は大きく下回っている。今後も財政計画(令和2年度～令和5年度)に基づき、健全財政の維持に努めていく。

(参考)

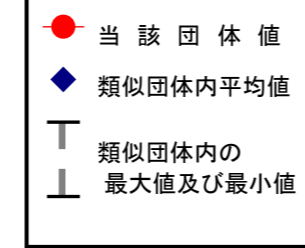
		H26	H27	H28	H29	H30
当該団体値	将来負担比率	12.4	2.5	-	-	-
	実質公債費比率	9.4	7.8	6.2	5.5	4.8
類似団体内平均値	将来負担比率	33.8	17.8	15.0	12.2	5.0
	実質公債費比率	7.1	5.3	5.0	4.8	4.5

(13)-1市町村施設類型別ストック情報分析表①

平成30年度

福岡県筑紫野市

人口	103,853人	(H31.1.1現在)	実質赤字比率	-%
うち日本人	103,277人	(H31.1.1現在)	連結実質赤字比率	-%
面積	87.73km ²		実質公債費比率	4.8%
歳入総額	36,319,875千円		将来負担比率	-%
歳出総額	35,171,132千円		市町村類型	H26 III-1 H27 III-3 H28 III-3
実質収支	889,248千円		(年度毎)	H29 III-3 H30 III-3
標準財政規模	18,923,766千円			
地方債現在高	27,675,943千円			



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成30年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



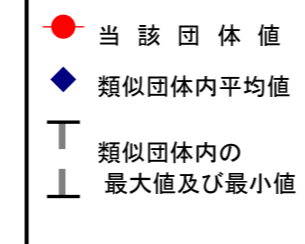
施設情報の分析欄
 類似団体と比較して有形固定資産減価償却率が低くなっている施設は道路、公営住宅、学校施設であり、高くなっている施設は、橋りょう、保育所、児童館である。
 公共施設等の個別施設計画による計画的な施設の維持管理を適切に進めていく。

(13)-2市町村施設類型別ストック情報分析表②

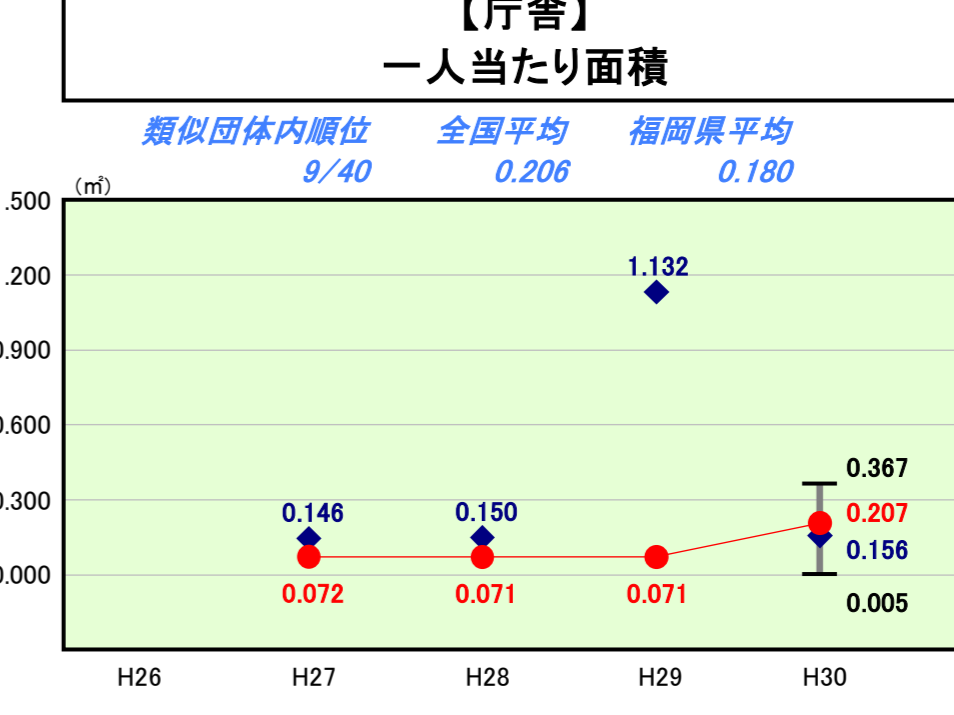
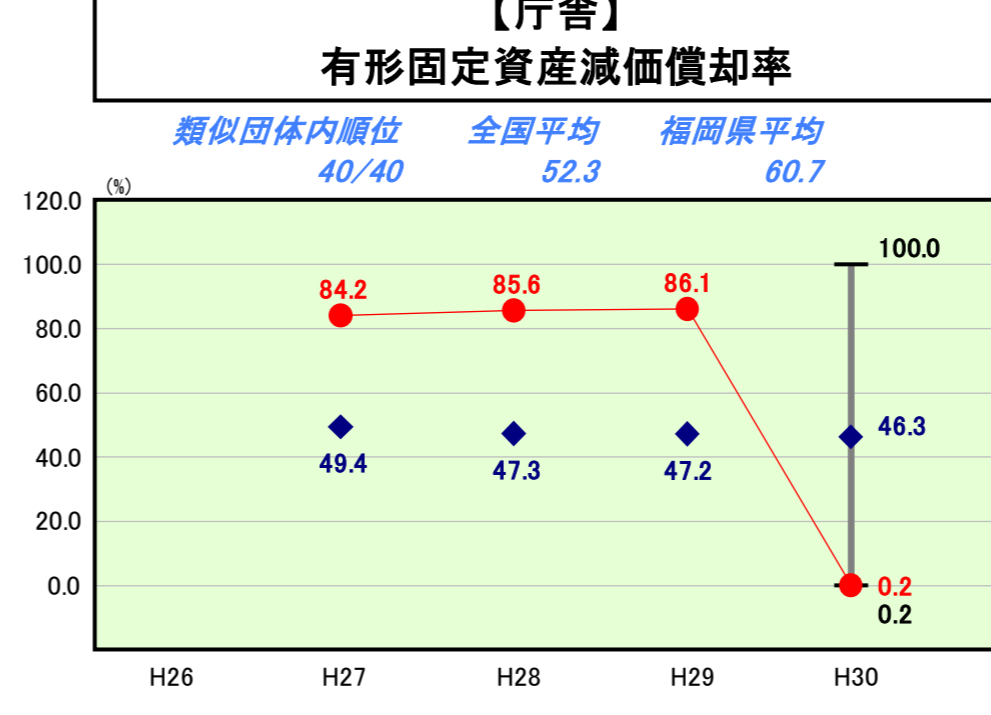
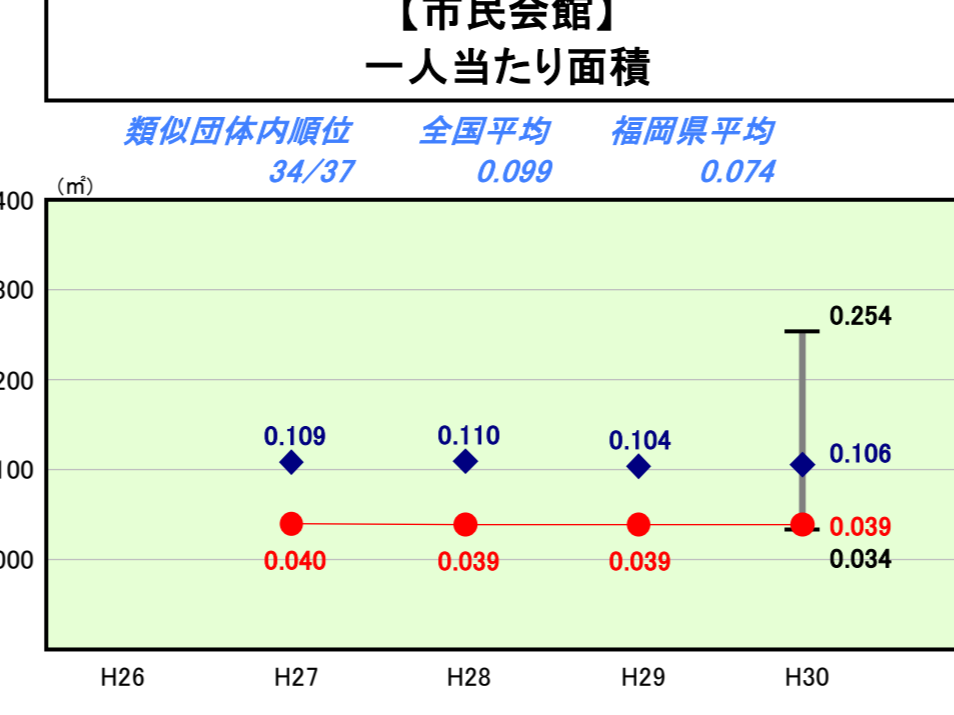
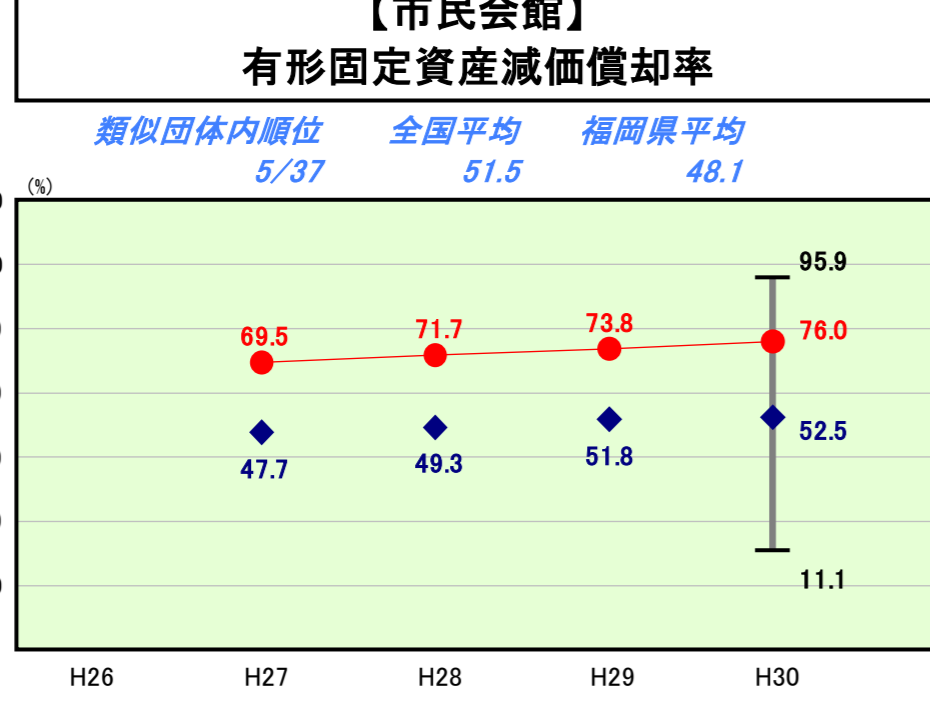
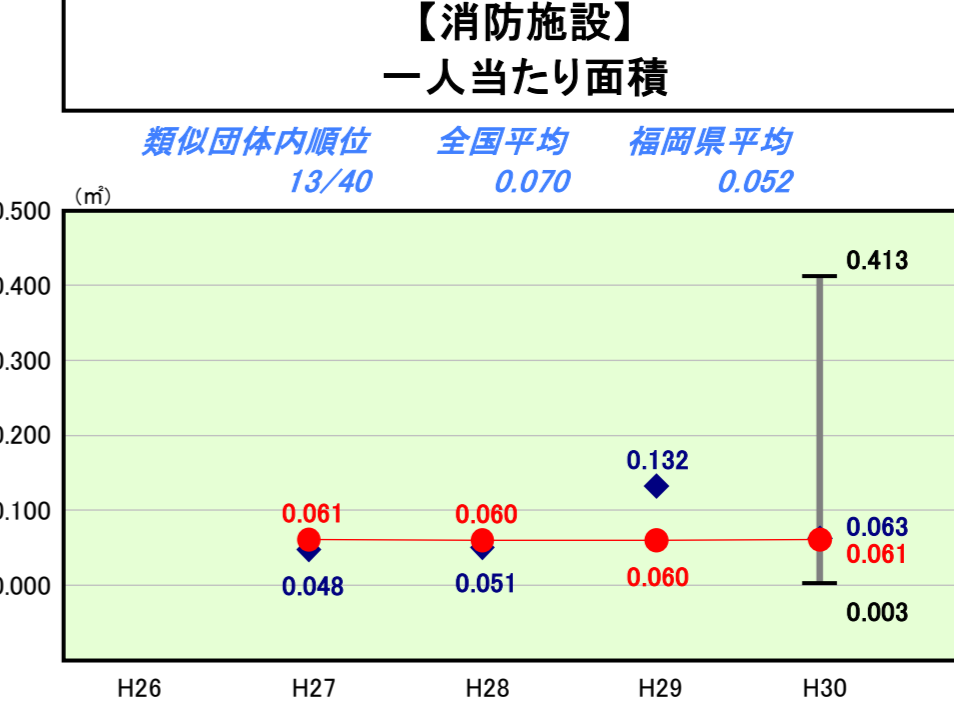
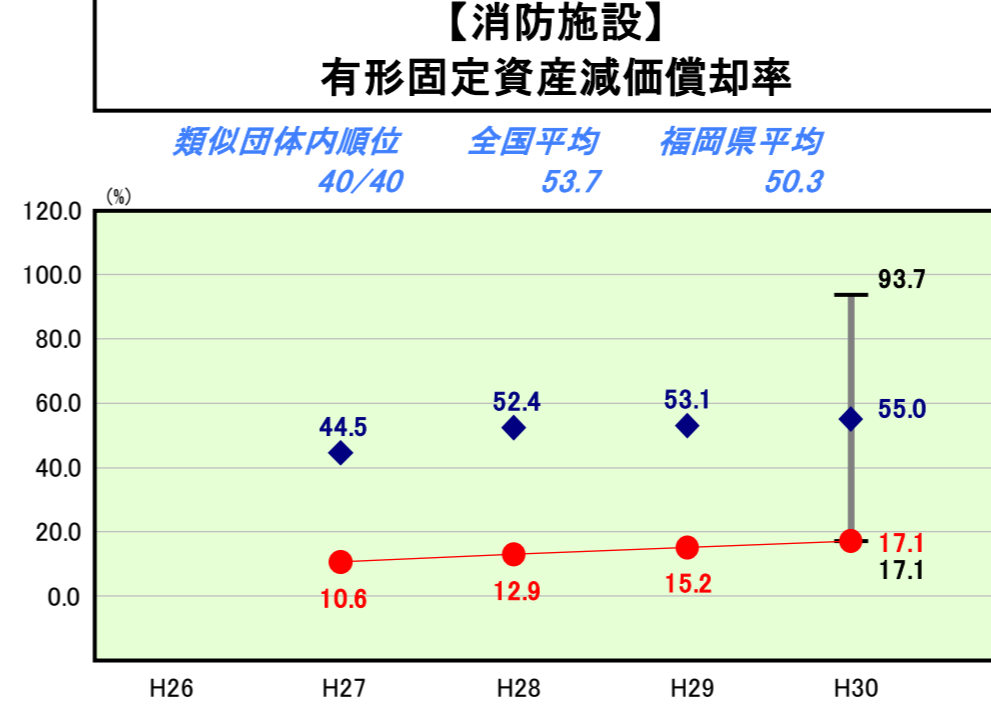
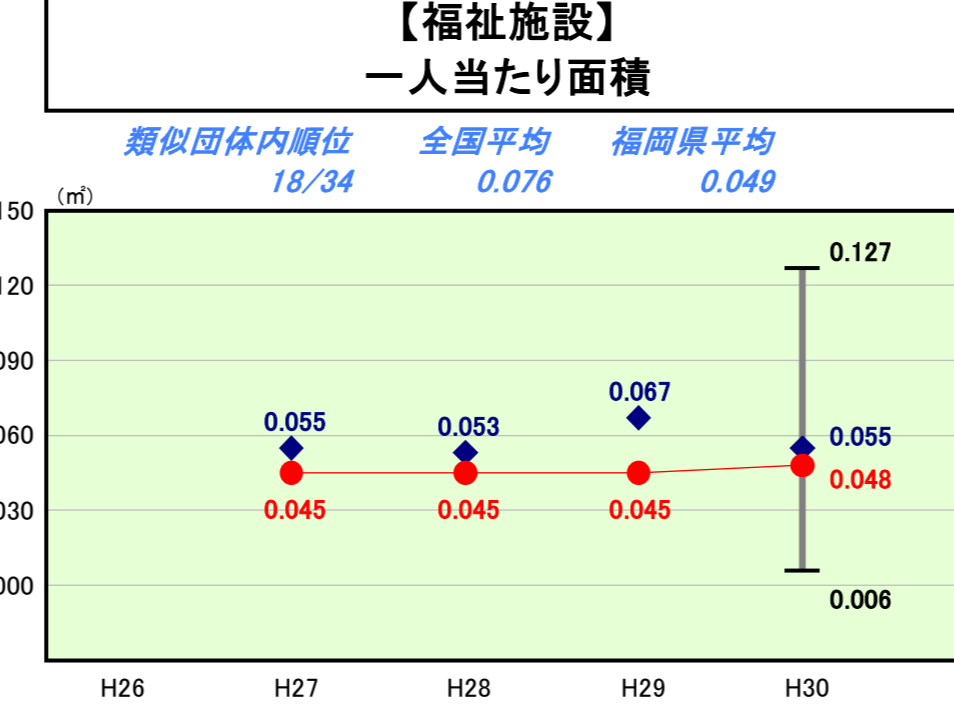
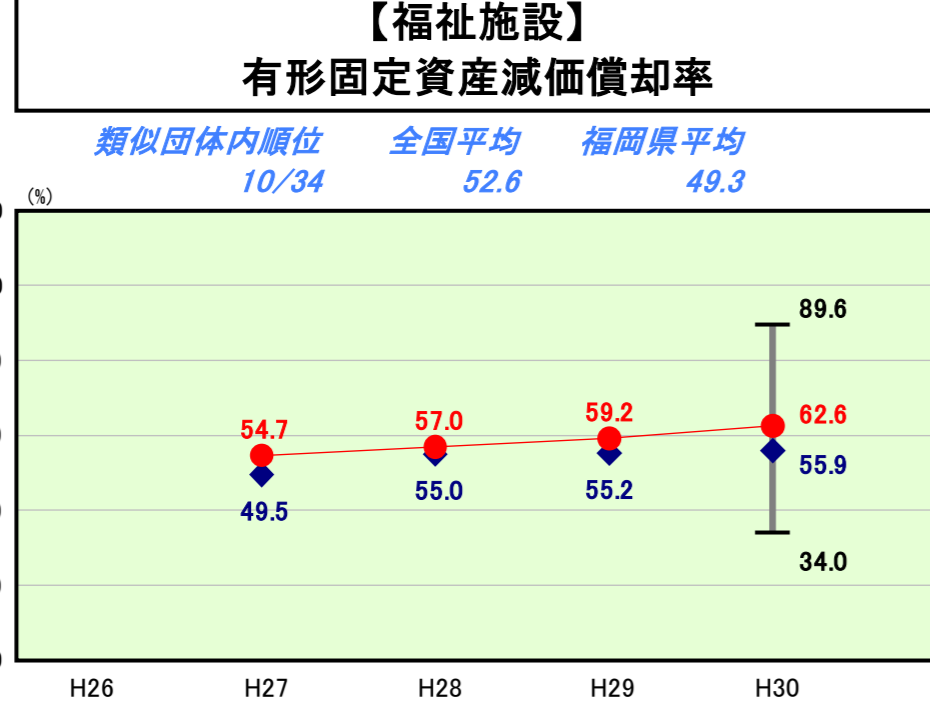
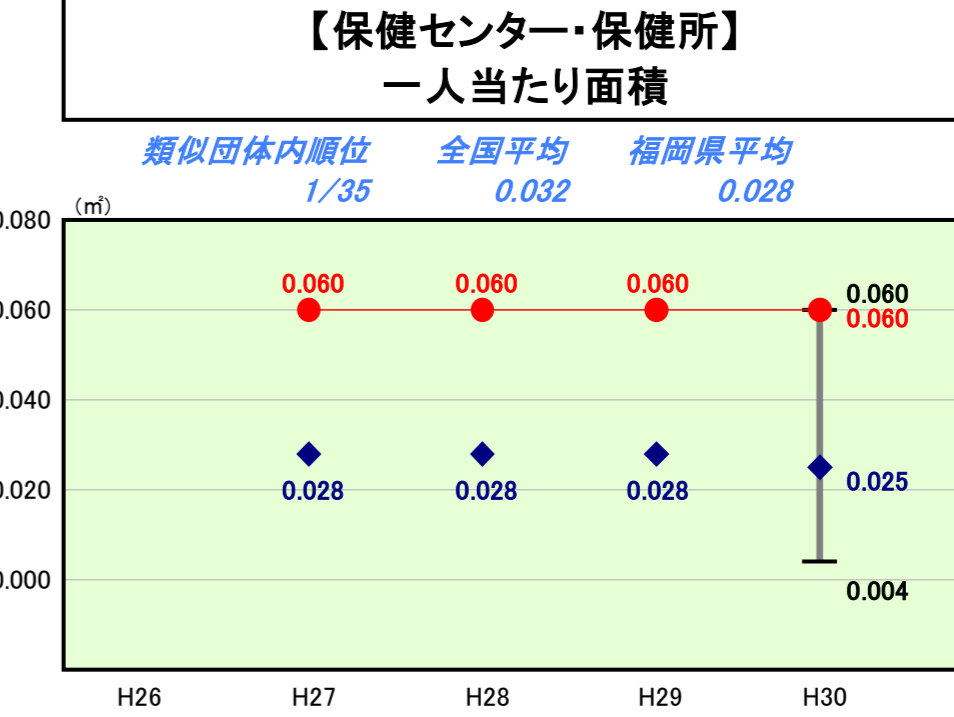
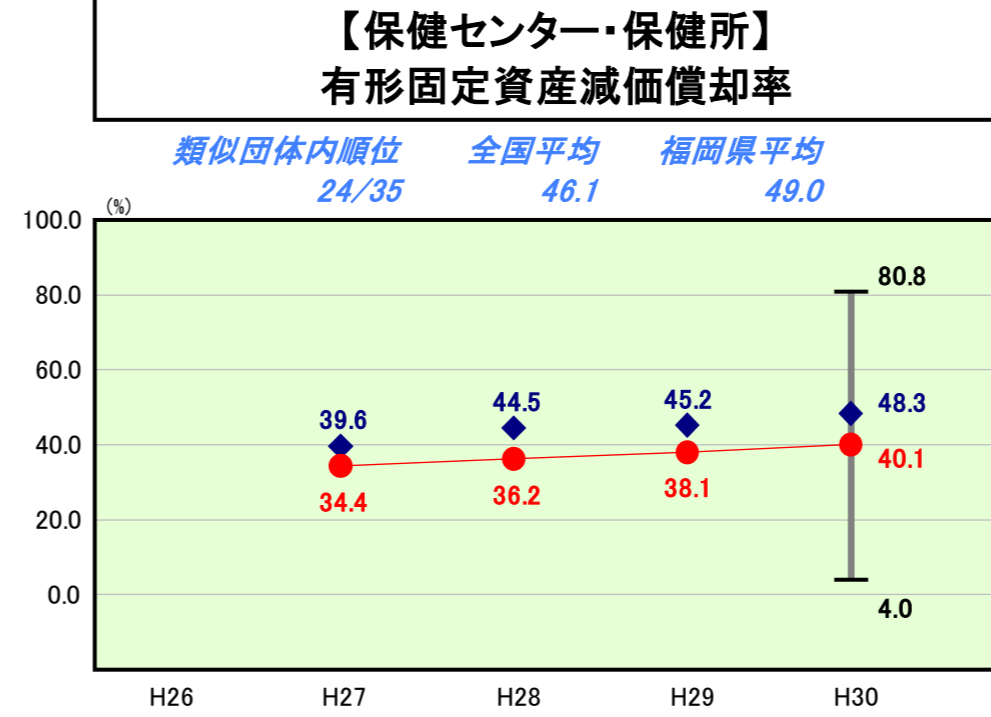
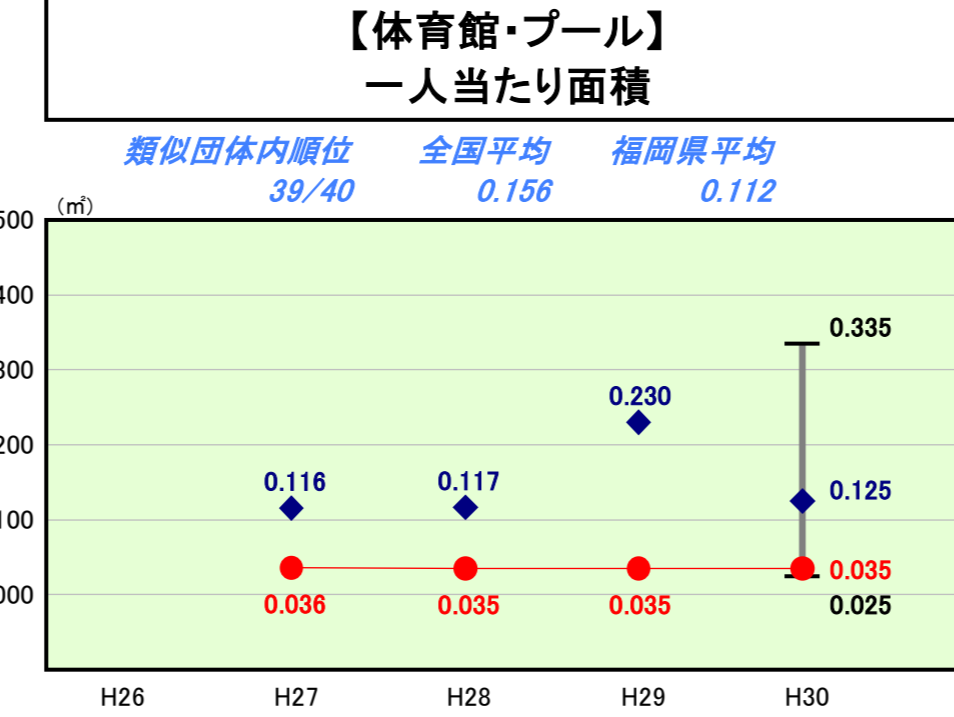
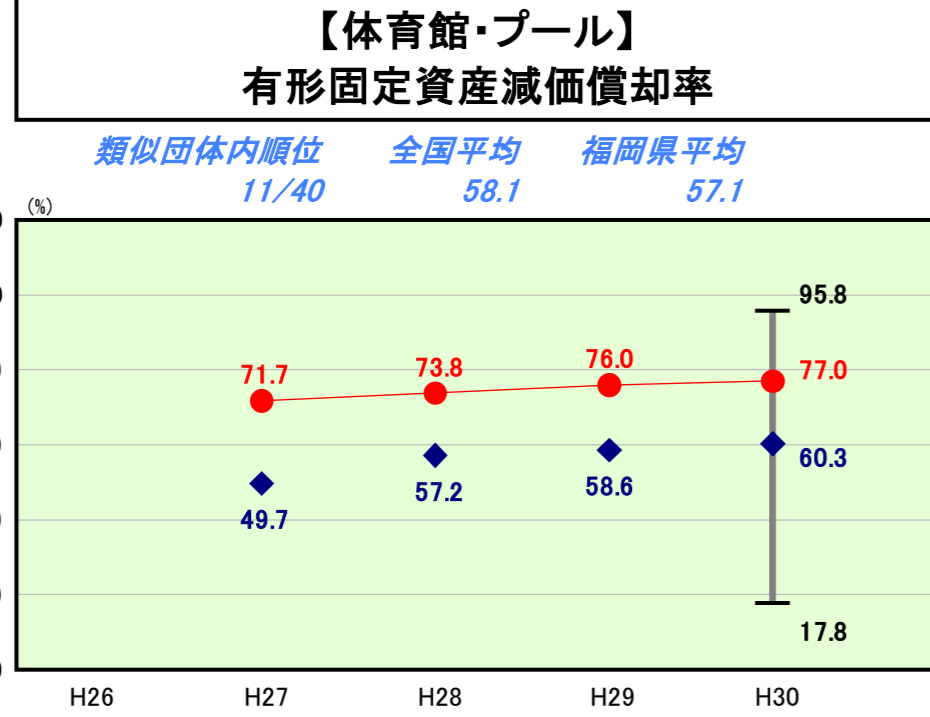
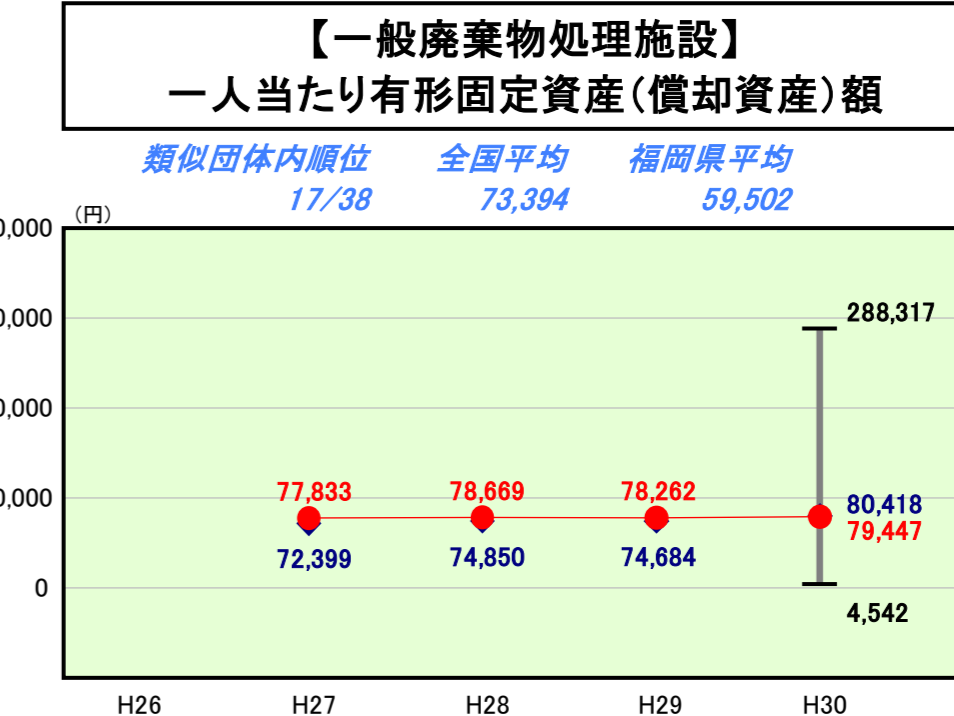
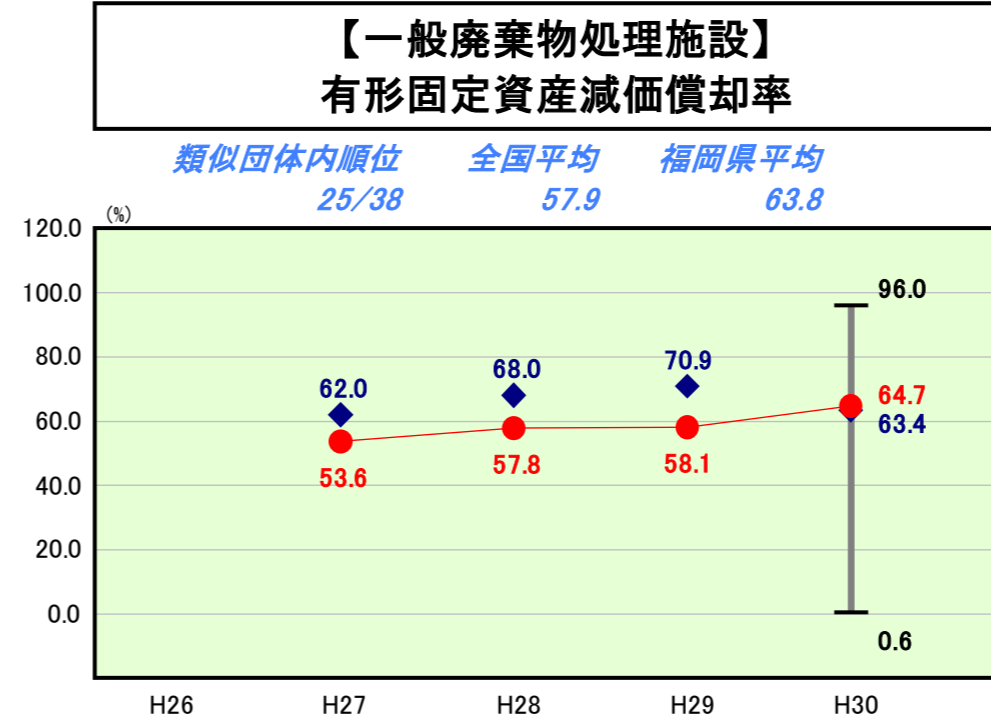
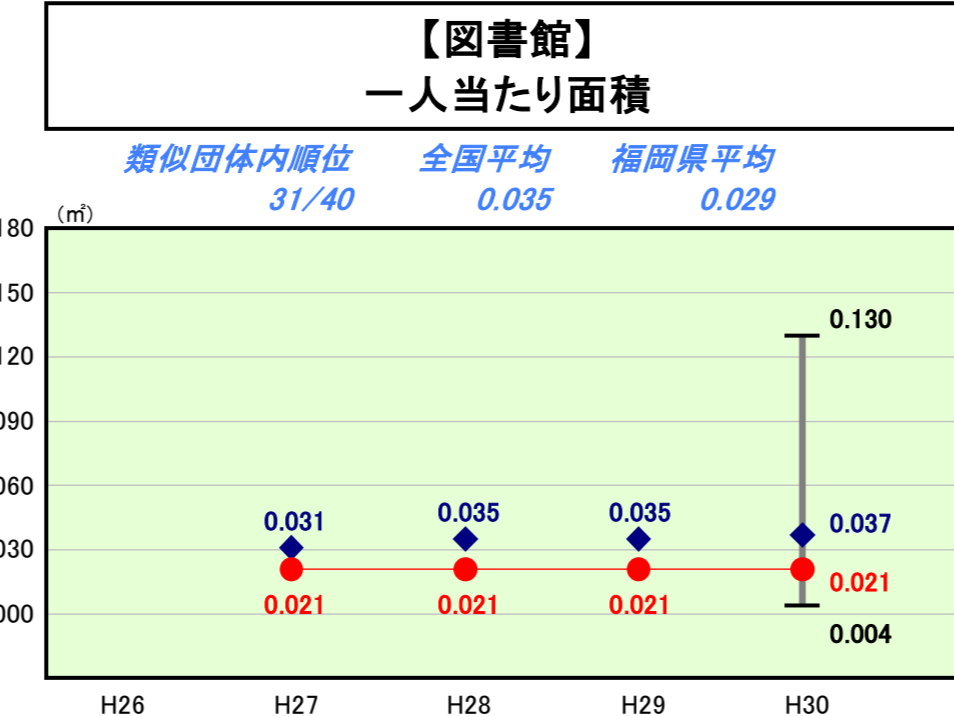
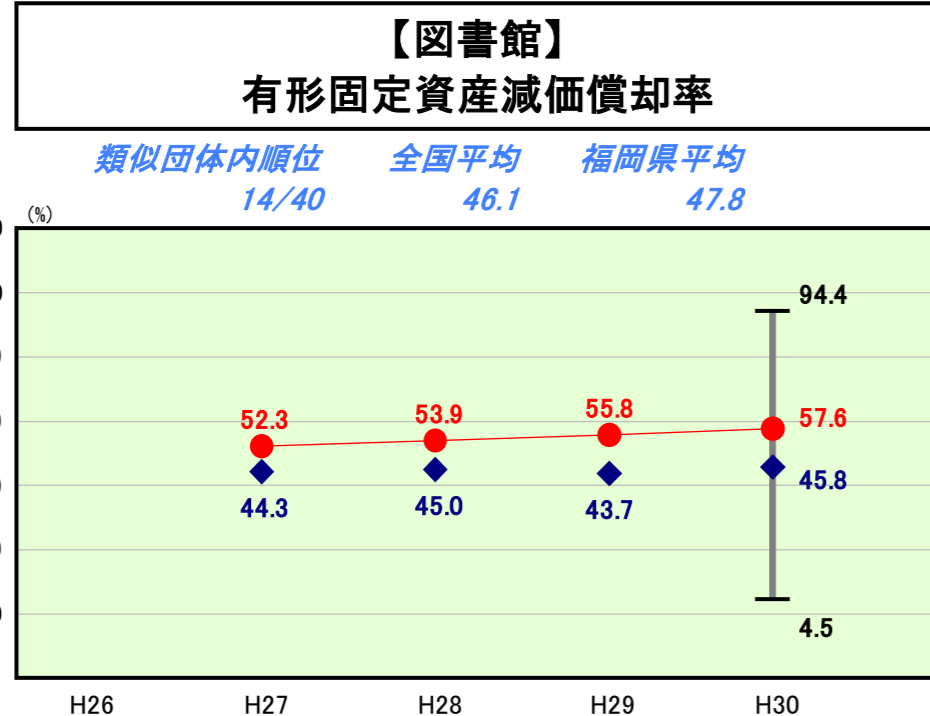
平成30年度

福岡県筑紫野市

人口	103,853人(H31.1.1現在)	実質赤字比率	-%
うち日本人	103,277人(H31.1.1現在)	連結実質赤字比率	-%
面積	87.73km ²	実質公債費比率	4.8%
歳入総額	36,319,875千円	将来負担比率	-%
歳出総額	35,171,132千円	市町村類型	H26 III-1 H27 III-3 H28 III-3
実質収支	889,248千円	(年度毎)	H29 III-3 H30 III-3
標準財政規模	18,923,766千円		
地方債現在高	27,675,943千円		



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口に基づいている。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成30年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



施設情報の分析欄
 類似団体と比較して、有形固定資産減価償却率が特に低くなっている施設は、平成30年度に完成した庁舎である。
 他の有形固定資産減価償却率が低くなっている施設は、保健センター、消防施設であり、高くなっている施設は、図書館、体育館、福祉施設、市民会館、一般廃棄物処理施設である。
 公共施設等の個別施設計画による計画的な施設の維持管理を適切に進めていく。